大正七年四月二十六日　年中無休刊　THE KEIJO NIPPO　京城日報　第三千七百七十四號　(一)

京城日報

二十五日夕刊
(朝夕刊併せて八頁)

本紙定價 [illegible]
廣告料金 [illegible]
發行所 京城太平町通一丁目 京城日報社 電話 [illegible]

時間表 [illegible]

總督告辭

二十五日擧行せる京城女子高等普通學校同師範科同附屬普通學校卒業式にける長谷川總督の告辭左の如し

京城女子高等普通學校卒業生諸子　諸子多年本校に在りて女子に必須なる高等普通教育を受け今や所定の課程を卒り各其志す所に向はんとす寔に賀すべきなり惟ふに女子の本分は一家を整理し子女を養育し以て內助の實を擧ぐるに在り諸子能く本校教育の旨趣を體し益々言行を愼み德操を研き一般婦女子の模範となり以て裨益に奉答せんことを期すべし

師範科卒業生諸子　朝鮮に於ける女子教育は年を逐て普及し諸子に待つこと極めて切なるものあり諸子宜しく朝鮮教育の旨趣を體し忠實業に服するは勿論生徒郷黨に接するに懇切を旨とし實踐躬行常に衆人の儀表と成り以て國家の期待に背かざらんことを要す

附屬普通學校卒業生諸子　諸子は年齒幼少にして前途遼遠たり宜しく德を研き行を正うし忠良なる國民たらんことを期すべし

段內閣顔觸

廿三日午後十時國務總理王士珍氏の辭職を許し段祺瑞氏を國務總理に任ずる旨の大總統令出でたり尙內閣は左の顔觸れを以て組織さる可し(北京特電)

國務總理兼財政總長段祺瑞▲陸軍總長段芝貴▲內務總長張國淦▲海軍總長劉冠雄▲司法總長趙一擧▲教育總長張一麐▲外交總長陸徵祥(留任)農商總長田文烈(留任)交通總長曹汝霖(留任)

湯化龍氏著發

湯化龍氏は二十五日北京より來奉同夜安奉線にて朝鮮經由東上の筈なり(奉天特電)

內田大使通過

內田大使一行は廿五日朝大阪通過東上せり(大阪特電)

金井參事北行

鐵道院金井參事及び久保田技師は二十五日夜京奉線にて北京より來奉直に哈爾賓に向ひたり(奉天特電)

獨軍東部續進　露都莫斯科危險

獨軍が何等かの口實の下に露都、莫斯科、オデッサ、キエフ其他の主要都市を占領するに至る可しとは世人の想像する處なるが既にキエフ、オデッサを占領したる獨軍はウクライナ方面に對し其の反對派を掃蕩しウクライナ政府を擁護すとの名目の下に今尙ほ進擊を持續しつゝあるのみならず北部露西亞に對しても最近來再び軍事行動を開始したるが如く露軍はプスコフ北方七哩を撤退せりと云ひペトログラード危うくレニン政府は更に莫斯科をも撤退すべしと迄傳へらる獨軍が北部露西亞に攻擊を再開せることは聊か腑に落ざるの觀なきに非ざれどもレニン政府が莫斯科大會の開會間際に至りて初めて條約正文其他多數の關係書類を提出し參會者をして其の內容を熟讀玩味するの暇なからしめ有耶無耶の裡に講和批准の決議案を通過せしめたる事實あるを以て見れば露獨講和條約は其の正文以外更に重要なる附帶條件若くは密約の存するに非ずやと信ず可き理由あり即ちペトログラード莫斯科の軍事的占領と云ふが如き隱れたる條件の存するには非らざるか疑に レニン政府が露都を撤退したる口實の如きも獨軍が何等かの名目の下に之を占領せん虞あればなりと云ふに在りて當時の情勢としては餘りに理由の薄弱なる嫌ひありき最近更に莫斯科をも撤退せんと傳へらるゝ等をも併せ考ふれば獨軍のペテログラード占領及び莫斯科包圍の如きも近き將來に或は實現せらるゝなきを保せずと觀測さる(東京)

北滿貨物解禁　暫定便法公布

曩に支那政府は露支國境經由貨物の一切の輸出を禁止せし爲め浦鹽經由大豆豆粕等の輸出に從事せる我業者は甚大なる打擊を被り佐藤哈爾賓總領事は同地各國領事と協議の上支那稅務司並に東支鐵道會社側に交涉を重ね大要左の條件の下に浦鹽向輸出貨物取扱に關する暫定便法を協定したるも更に浦鹽地方に於ける過激派跋扈の爲め一時貨物の輸出停止せられ右便法は頒布の運びに至らざりしが右過激派の干涉も既に解除せられたるを以て三月十三日佐藤總領事は各國領事と交涉の上東支鐵道會社に對し豫て協定したる暫定便法を卽日公布し之れに效力を與ふる樣照會を發したるを以て東支鐵道會社は同日直に各驛に對し必要の訓令を與へ貨物の輸送を開始せり

一、日本米國又は他の協約國に運送すべき輸出品は浦鹽中國所在領事館の船荷證書に在領事官の署名を要する事
二、該貨物が浦鹽埠頭に直送せらるべきことを說明せる東支鐵道會社の保證書を提出すべき事
三、浦鹽に於ける貨物引出者には同地駐在該國領事官之に署名し且同領事官より該貨物は浦鹽到著後直に船積せる旨の證明書を [illegible]
四、若し途中に於て貨物の用途變更せられたることを發見せられたる場合には [illegible] 禁止を勵行する事

間島市場狀況

開設輸出市場が新生面を開きたる其反面に於て相場の向上懸くべきものあり昨今龍井市場の相場は大豆十一圓小豆十一圓粟十三圓豆粕一枚四十五錢豆油二十九圓小麥十三圓高粱五圓五十錢といふ未曾有の高値にて尙ほ騰氣配は底上を豫想せしむる狀態にあり而かも高粱は輸出解禁となり目下續々輸出を開始され居れるも爰に輸出商に取て最も打擊を感じ居るは運賃の激騰にて殊に解氷期を目前に控へ居る事とて斯業者の苦心は一通にあらず右運賃の急激なる騰調を開くに支那馬車馬匹の糧資たるべき唯一の豆粕が此の暴騰に會したるより在來の運賃を以てしては應ずる色なく從て運賃は次第に向上する一方解氷期は目睫に迫まり輸送力の切迫益と急を告ぐるより輸出商は昨今困憊の狀態にありと(間島)

總督阪谷男招待

長谷川總督は二十五日午後十二時三十分より阪谷男を主賓とし官邸に於て午餐會を開き宇佐美、小原、國分、持地、松永各長官、荻田局長、兒島高橋兩武官、有賀課長、齋藤大島兩副官、神田秘書官、大田鮮銀理事、高野三井物產支店長、久保滿鐵京城管理局長、西村一銀支店長、公森稅務監督局事務官、村岡大佐、須田少佐等出席せり

米國電報制限　商用並に新聞電報は可也

米國の電報制限に就ては既報せしが右取扱制限中商用及び新聞電報に對しては何等制限を加へず從來通りなりと

慶南地方豫算　佐々木部長携帶入京

慶南第一部長佐々木正太氏は二十四日夜入京浦尾に投じ約一週日滯在の豫定なるが氏の入京用向は大正七年度慶南地方費豫算に對する總督府との打合せ用務にして右豫算は道內教育產業土木事業の發展に伴ひ歲出入共約五十萬圓に達し居れりと

議論は既に盡されたり　支那幣制の改革に就て　男爵 阪谷芳郎氏談

支那財政顧問たることに內定せる阪谷芳郎男は、既報二十五日朝入京、朝鮮ホテルに入りしが、男は支那の幣制改革に就て語りて曰く

內地の新聞等には、予が既に支那政府の財政顧問たるやに傳ふるも、予は未だ其事を承諾したるにあらず、過般林公使歸朝の際種々相談したることもあり、實地の視察を慫慂されたるに依り此行を思立ちたり、北京著の上、調査研究を遂げ、而して予が平素の

▲抱懷と對照し　案を立て支那政府に提示し、當路之を容れ、且つ萬難を排して遂行するの確證を與へなば、乃ち就任することゝ成るべし、今回は支那滯留三箇月位にして歸朝の豫定なり、支那の幣制改革は多年の懸案にして歐米人に依囑して調査せしめたることもあり、日本人より意見を進めたることもあり、既に一切の議論を盡し、名案の案出されたるも少からず、唯其の實施が困難なるのみ、幣制改革と云へば財政整理を終始すべきもの、財政整理を意味すは總ての國家機關の整理を意味す、現に朝鮮銀行の金券が、滿洲に於て流通せるは、滿洲經濟界の中樞機關たる滿鐵會社が金券を受入れ

▲又金券を以て　支拂を爲す爲めにして、凡て貨幣は斯るサーキュレーションに於て圓滑に流通するものなれば、支那に於て幣制を改革し、統一せんと欲せば支那全土を以て一つのサーキュレーションを形成せざるべからず、國家機關の整理を要する所以なるが、果して克く行はれ得べきか疑問なり單に幣制改革のみに就て云はゞ金本位制を採らざる可からざるは、既に識者の意見一致せる處なるが、而かも印刷局、造幣局乃至中央銀行等を整備するの必要あり、現に中央銀行は之無きにあらざれども今一段鞏固なる基礎の上に置かれざるべからず、去れば其等の準備事業のみにても却々(

▲尋常の努力にて　能くし得る處にあらざるべし、尤も金準備に關しては、每年上海の市場に出廻はる金のみにして二千萬圓を下らざるべく、政府に於て之を買收せば十個年に二億圓を集め得る勘定なるが、此他にも相應の金を買上ぐるを得ん、更に外債を起すも可なり、各國は金の輸出を禁止し居れるを以て、借入れたる金は之を外國に預け爲替資金に充當するを得べく、斯く種々の方法を講せば兎も角も必要を充たすは然迄困難にあらざるべきか、偖て愈諸般の準備整ひ、之を實施するに當りて又も大難事に逢著することゝ成る、卽ち一般行政の不統一別して警察の權威なきことは尠からざる

▲不便不都合を　醸すこと多からん、彊土廣大なる國家に在りては些末なる事物の變改すら一朝一夕にして行はれ得べきにあらず況して幣制改革てふ大事業を雖さへ擾亂勝ちなる現今の支那に實施せんに、既に容易の業にあらず、[illegible]たるが故に、前にも述べし通り數十年來懸案として今日に及べるもいかなるか、支那政府にして適當なる時機を見て斷じて之を行ひ、如何なる障害起るとも、中途にして廢止するが如きと無く飽迄初志を貫徹するの覺悟だにあらば結局功業を樹て得べき理なり

東亞蠶絲創立　支店を京城に設置

內地及び朝鮮蠶絲業界の中堅者を以て豫てより計畫中なりし資本金百萬圓の東亞蠶絲株式會社は二十三日京都市岡崎公會堂に於て創立總會を開き事業の經營役員の選擧定款の變更等に付協議したる結果社長に坂口平兵衞氏取締役には三田伊三郎、下元鹿之助、高橋隆一、礪井大藏の四氏、監查役には富田儀作、木村吉郎、平野吉左衞門の三氏專務には三田伊三郎氏當選營業區域を內地朝鮮及び支那とし本店を京都市に支店を京城に置くことに決定せり(京都)

露獨講和成果　獨逸新勢力範圍

莫斯科に於ける全露勞兵大會は露獨の講和條約を批准するに決せり獨墺側に於ても素より何等異議なかる可く卽ち露國と獨墺側の單獨講和は今や全く確定的のものとなれりしも其の結果として獨逸は露領中の芬蘭及び小露西亞の獨立を承認しベッサラビアの自治を認め波羅的沿海三州及びリスアニアに對しては民族自定權に依りて其去就を決せしむ可く尙ほ高架索南部の地方は之を土耳其に返還す可しと云ひ其々其の性質に於て多少の相違なきに非ざれども是等の諸地方(但し高架索南部を除く)が全部獨逸の保護領若くは保護領となるの一事は最早や爭ふ可らず今之を一括して獨逸の勢力範圍と認め其面積人口を比較すれば次の如し

地名	面積(方里)	人口(萬人)
芬蘭	二三、三五〇	二九六
エストニア	一、二六六	四一
リヴォニア	二、九三九	二二九
クールランド	一、七〇五	六十
リチュアニア	一九、一五〇	一、二七〇
波蘭	八、一六九	一、二四七
ウクライナ	九、五八四	一、〇六八
ベッサラビア	二、八五二	二四九
計	六九、〇一五	四、三六七

(注意)白露西亞は別なり

右獨逸の新勢力範圍を歐露全體と比較すれば左の如し

地名	面積(方里)	人口(萬人)
歐露	三三九、五三八	一三、六一四
新勢力範圍	六九、〇一五	四、三六七

卽ち獨逸が今回露國に於て獲得したる新勢力範圍は歐露全體に比し面積に於て約五分の一人口に於て約三分の一に該當す尙獨逸の面積人口を今回の新勢力範圍に於ける其れとを比較すれば次の如し

地名	面積(方里)	人口(萬人)
獨逸	三三、四三三	六、四九三
新勢力範圍	六九、〇一五	四、三六七

卽ち獨逸が今回獲得したる新勢力範圍は其本國に比し面積に於て二倍强人口に於て約三分の二に相當せり因に露國海軍の現勢力は大要次の如く單獨講和の結果何れも所屬の軍港要港に入りて繫留若くは武裝解除を爲すことゝなりたれば獨逸は極東方面のものを除きては全部獨逸の爲めに買收其他の方法に依りて利用せられ得る情勢の下に在るものと云ふ可し

▲波羅的海

艦種	隻數
弩級戰艦	四隻
舊式戰艦	四隻
弩級巡洋戰艦	四隻(建造中)
巡洋艦(新舊)	十隻
砲艦	五隻
驅逐艦	七十隻
潛水艇	廿五隻

▲黑海

艦種	隻數
弩級戰艦	三隻(內一隻建造中)
舊式戰艦	四隻
巡洋艦(新舊)	五隻(內二隻建造中)
砲艦	二隻
驅逐艦	廿七隻
潛水艇	十三隻

▲極東

艦種	隻數
巡洋艦	一隻
驅逐艦	七隻
潛水艇	二隻
黑龍江―河用砲艦	十八隻

尙ほ其他に一二隻の砲艦あるのみなり其の他各方面を通じ夫々其の勢力に比して碎氷運炭給與等の特務艦船あるは勿論なりとす

京畿內鮮人酒造狀況

京畿道管內に於ける大正五年度朝鮮酒以外の釀造酒狀況を聞くに清酒、濁酒、葡萄酒外果實酒及び其他の酒造免許人員五十名製造場數五十個所此の造石數七千百九十五石稅額三萬五千九百七十七圓を算せるが內譯は左の如し

▲清酒　免許人名三十三名製造場數三十三此の造石高六千六百八十二石稅額三萬三千四百十二圓
▲濁酒　免許人員七名製造場數七箇此の造石數四百十二石稅額二千六十二圓
▲葡萄酒其他果實酒　免許人員二名製造場數二箇所造石數十六石稅額八十圓
▲其他　免許人員八名製造所數八箇所造石高八十四石稅額四百二十一圓

次に朝鮮酒の造石狀況を見るに濁酒藥酒燒酎合計免許人員一萬一千九十名製造場數一萬一千九十個所此の合計造石數八萬六千七百九十二石稅額七萬七千七百二十五圓を示せり內譯は左の如し

▲濁酒　免許人員九千二百八十一名製造場數九千二百八十一、造石數六萬九千九十六石此の稅額四萬八千三百六十七圓
▲藥酒　免許人員九百七十四名製造場數九百七十四、造石高一萬三千百五十四石此の稅額一萬九千十百三十一圓
▲燒酒　免許人員八百三十五名製造場數八百三十五此の造石數四千五百四十一石稅額九千六百二十四圓

阪谷男一行入京

法學博士阪谷芳郎男一行九名及實業家四名は既報の如く二十五日午前九時南大門驛著列車にて入京、荻田總務局長、持地長官、久保京管局長、久芳人事課長、工藤總務課長、大田鮮銀理事、高野三井支店長其他官民多數の出迎を受け直に朝鮮ホテルに入り一泊の上二十六日午前九時南大門驛發列車にて北京に直行すべし

▲動靜

阪谷男は二十五日午前鮮銀行を視察し同十一時三十分總督府に長谷川總督其他を訪問し入京の挨拶を爲し十二時三十分より長谷川總督主催の總督邸午餐會に臨み午後四時より龍山鐵道俱樂部に於て滿鐵管理局員に對し「滿鐵の由來」と題する一場の講演を爲し午後六時卅分より京城民會同主催の朝鮮ホテルの歡迎に列席せり

北島博士講演

既報の如く支那山西山東兩省內に於けるペスト流行並に防疫狀況視察の爲め內務省より出張を命ぜられたる北島醫學博士は右視察を了り歸朝の途次二十四日夜奉天より入京朝鮮ホテルに投宿中なるが二十五日午前京城憲兵分隊廳舍に於て支那肺ペスト視察に關する講演を試みたり

北島博士歡迎會

入京中の醫學博士北島多一氏の爲め芳賀總督府醫院長等發起となり二十五日午後六時半より京城ホテルに於て歡迎會を催したり

金谷府尹の招待

金谷京城府尹は廿四日午後六時半より老人會員及び大正親睦會幹部五十餘名を京城ホテルに招待したるが來賓として松永道長官、鹽澤警務部長、入澤今村兩部長列席せり

女子高普卒業式

二十五日午前十時より京城女子高等普通學校卒業式を擧行し高橋武官總督代理として臨席別項の告辭を朗讀せり

平壤高普卒業式

二十五日午前十時から平壤高等普通學校同午後一時から同女子高等普通學校卒業式を擧行し關屋學務局長總督代理として臨席一場の告辭を爲したり

赤星鐵馬氏來鮮

成歡に牧場を經營し居れる東京の實業家赤星鐵馬氏は廿四日夜成歡著牧場に向ふ

大阪財界通信

▲製油市況頓挫　植物製油は米國方面への輸出旺盛を呈し落花生油の如くゴプラ油の如き滅切好調の成行なりしも米國の貿易制限令を傳へらるゝに至りて茲に市況頓挫模樣となり軟弱の成行を招致するに至りたる爲め就中ゴプラ製油業者は神戶シドニー間の運賃引上げにより原料ゴプラの騰貴著しきに比較して精油の價格騰貴せざるにより前途は甚だ憂慮に堪へざるものあれど來る六七月頃迄の製油原料は昨今來の安原料にて製油し得べきを以て目前の事情は悲觀するに足らざれども安原料使用後に於て製油の價格騰貴せざるに於ては甚しき困憊に陷る事なきやを保し難かるべき狀勢にありと

▲硫安協定前途　硫酸製造業者は原料の騰貴より不引合となりたる爲め先般販賣價格を六十度物一圓六十錢と協定するに至りたが硫酸需要の旺盛は硫酸使用業に於て協定販賣價格物より以上に進む傾向にあり實際の取引は六十度物一圓八十錢位にて取引行はるゝの現象はこれ明かに需給の均衡を失し居れるを證するものに外ならざれば需要の旺盛に比し供給の過少は軈て協定販賣價格の引上げをなすに至るべきものゝ如き狀調にあり

▲皮革界の活況　露國軍靴引受頓挫以來久しく沈衰の極に達し居りし大阪皮革界に於ける最近の商況を聞くに昨今陸軍用背嚢向牛革は最も荷捌き良好にして爲めに朝鮮牛皮は稍々氣配を高めたると一面工業界の厚物需要激增に伴ひ之が製產額の最も多きを致せる日本皮革新田帶革大阪皮革會社の先月來原皮買入に一層氣配を强からしめ加ふるに時節柄某方面の軍需品註文到來の噂は專ら當業者の人氣を唆り昨今小牛皮は頗る賣行良好なるもの〻如し最近原皮の相場左の如し

品名	百斤	品名	百斤
朝鮮大干皮	上物九十五圓	同	九十圓
同中干皮	同 八十圓	同	七十四圓
同小牛干皮	同 百十五圓	同	九十五圓
滿洲大干皮	同 九十五圓	同中干皮	八十圓
同小干皮	同 九十三圓	同小皮	八十八圓
天津大干皮	同 九十圓	同上中干皮	六十三圓
同小干皮	同 八十五圓	芝罘大干皮	六十八圓
上海中干皮	同 六十圓	同 [illegible]干皮	六十五圓

電報不著

內地よりの電報は依然不良延著にて本夕刊締切迄に著せず明朝刊に掲ぐべし

人事消息

▲鶴田總督府技師　二十三日附を以て水原へ出張を命ぜらる
▲大島浩一氏(同技師)　二十三日京畿道工事監督の爲め忠南道內へ出張を命ぜらる
▲近田玄龜氏(同技師)　二十三日仁川へ出張を命ぜらる
▲成川隆虎氏(遞信事務官補)　二十三日附を以て日本海橫斷航路開始に付き狀況視察の爲め慶尙南北道沿岸及び敦賀へ出張を命ぜらる
▲倉澤運平(長野縣蠶業中央會議員)▲尾崎彥四郎氏(同蠶業組合議事)▲白井常治(同評議員)▲久保下鈞賀談氏(長野縣技師)　二十四日夜入京浦尾へ
▲佐々木正太氏(慶南第一部長)　同上
▲井上宜文氏(鐵道家)　二十四日夜入京龍山の自邸に入れり當分滯京する由
▲山崎猛氏(松島拜行員)　二十五日內地より入京朝鮮ホテルへ
▲貝瀨道吾氏(滿鐵營業課長)　二十五日午前入京朝鮮ホテルへ

九州要地歷訪(七)

別府生

◇鈴木の大里

◆大里は門司小倉の中間に位置する小都市たるが、近年其の事業的發展は著しきものあり、煙突林立、黑煙濛々として上り、初めて九州に投じ門司より南下するものは、其の工場の連續せると、附近一帶の活況寧ろ奇らざるに一驚を喫し申候

◆大里の事業界を概觀し、直ちに想到せざるを得ざるは大里が鈴木商店の大里たりと云ふ點にあるが如し乃ち其直系傍系の事業を列擧すれば櫻ビールを以て有名なる帝國麥酒會社、製糖界の巨人大日本製糖を初め、坩堝製造所、硝子製造所、大里製粉所、大里精米所、大里製煉所大里再製鹽所等僂指の遑あらず鈴木系ならざる大里製綱會社九州電線株式會社も其原料若くは製品の販賣及買收上鈴木と密接の關係を持續しつゝありとの事に候

◆大里と鈴木とは隨分古き因緣を有するに似たり、鈴木は大里の草分け當時よりその將來に著目したるものゝ如し、彼が現日糖工場の前身たる大里製糖所の建設に著手したるは明治三十六年にして更に此の製糖所が鈴木の富力增進に多大の寄與をなせしに想ひ到れば、或意味に於て大里は鈴木家發祥の地と稱するも差支へなかるべきかと云ふ人も有之候

◆歐洲戰爭がいかに大里の事業界に新計畫を生み出したるやと云ふに一二小規模のもの〻出現はなきに非ざるも、大體に於て戰亂の影響は既設事業の擴張と活動を促せしに留まりしが如し、之れ現在大里の有する土地は殆んど工場並に人家を以て充塡し盡したるため鈴木商店の如き尙ほ土地の餘積だにあらば、海陸交通利便にして工場經營上極めて優秀の立場にある大里に向つて、其の投資を敢てしたき意向なるにもあれ結局止むを得ず手を引き居れりと承はり居り候

◆尤も現大里の南方には約六七十町歩の平地あり、工場地として頗る優越せりと聞くも、其の地所は全部鐵道院の所有に係り、鐵道院は何等かの企劃を有するものか、その民間拂下げを絕對に峻拒しつゝあり、大里町の當局は其の鐵道院の土地獨占を投げ遣りに就て少なからず批難し居たるが、町勢の發展を希望する町政當局者の言としては一應尤もと存じ候

◆小生は約十二三年前の大里を知る、然も其後工場の頻設と人口の增加は全く町勢を一變し、荒僻りの風と建設中の都市たる氣分は到る所に之れを見るも、以前の田畑は工場地若くは人家と化し全く面目の革まれるに驚ろき申し候、其の現住の戶數は二千六百人口一萬にして此の狀勢にて進まば門司市制區域の擴張による大里の併合は近き將來かとも存じ候

◆序でに門司市役所がいかなる理由に基づきしものか、其の位置を白木崎…大里に近き方面…に置き居れるは、其の下心ならずやとも思はれ候

寂寥々の浦鹽

油斷も隙もない警戒振り

勞兵會でも怖氣付いて　巨砲の口を某國軍艦に

烏港にて　西村特派員

昨今の浦鹽港内は誠に寂寥々たるものである、昨年の此頃は軍需品を搭載して來た日米の巨船が延長二里に餘るパリスターン埠頭にズラリと並んで荷役に忙しく、騷々

起重機の響に

昔ふべからざる壯觀を語つて居たものだがソレも既に昨日の夢、今では外來船と云へば敦賀から來る鳳山丸と朝鮮郵船の平安丸がある許り、浦鹽に錨を置く

▽**露國の商船** もホンの數へる程しか居ない、去年に比べると實に想像も及ばぬ程の寂れ方で今更の如く榮枯盛衰の道理を思はせる、コンな寂しい港の中に○英米の艦艇が四隻迄も錨を卸し

宛ら浮城の如

く浦鹽市街を睥睨して居る所は却々の壯觀である、○○政府から派遣したのは軍艦が二隻と碎氷船が一隻、何れも商港埠頭から四五丁許り沖合に其雄姿を泛べて居る、

▽**腰の米艦は** 伊達には居らぬ、砲樽の下に横はる巨砲は命令一下何時でも切つて放すに差支への無い準備が整つて居る、○

○軍艦の油斷も隙もない警戒振りに反し英米の軍艦は如何なる

魂膽を抱いて

居るのか、揃ひも揃つて商港棧橋に艫をピタリと著け、乘組員には毎日半舷上陸を許して居る、革命此方迷ひに迷へる露人が何うして此態度を默つて見て居らう、寄ると觸ると話しはコレ沙汰種々

▽**樣々の觀測** を下して居るが、過激派たると穩和派たるとを問はず大艦に於て○○軍艦が沖合に碇泊して居るのはイザと云ふ場合直ちに發砲する事が出來るからだと内々怖氣立つて居るやうである、ソレかあらぬか

元州議會跡に

陣取つて居る勞兵會本部が夢寐の間にも警戒の目を光らせて居るのは○○軍艦日本部の背後にヌツと聳ねる砲塔には新式ながら巨砲が据わつて居るが其砲口は何時も

▽**○○軍艦を** 狙つて居るとやら、嘘か眞かソレは判らぬが○○軍艦の睨みの利いて居る事は事實で、浦鹽の形勢が世間で傳へらるゝほど逼迫して居らず案外平靜であるのは何んと云つても○

○軍艦の力である、此月はじめ

勞兵會が無法

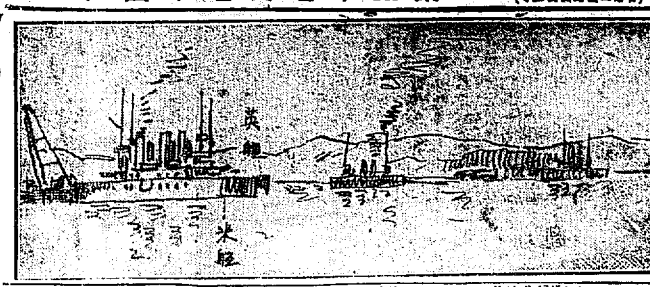
極まる要求を撤回したのは全市に亙る四日間の同盟休業の結果と言はれて居るが其背後に○○軍艦の力が潛んで居る事を知らねばならぬ、今後も軍艦が控へて居る以上流石の勞兵會も

▽**暴威を擅ふ** に躊躇す

るだらうし浦鹽も平穩を持續するであらうがソレ丈○○軍艦も覗り合ひがない譯である、記者は無論事あれかしと望むものではないが此儘無爲に月日を過したならば大事なく○○軍艦が

アムールの海

に根を卸しはしまいかと心配でならぬ、尚ほ昨今の浦鹽は殊の外暖かく毎日麗かな春日和が續く港内の氷も既に融けて終日のたり／＼と云ふ有樣である



浦鹽商港埠頭より見たる各國軍艦
向つて左方白色に塗布を著けたるが英米軍艦

阪谷男入京
廿五日南大門驛にて

縣と市が力瘤を

入れて素敵に盛んに行る

九州沖縄物産共進會の景氣

朝鮮館には五百點の陳列　が廣に檻をかけて演藝場の催し物

四月の十日から五月九日まで一箇月間花の博多で開會する九州沖繩物産共進會は本社主催九州視察團の最も主な視察箇所であるが

◆**會期の切迫** した二十二日記者は會場を訪うて見た、場所は那珂川の河口にある大廣場一萬餘坪を以て充てそれに約四千坪の建物を晝夜兼行で忙しく建てゝゐる、既に各館共概ね竣成に近い模樣で内部の造作が略すむと二十七八日から陳列に掛るとの話しであつた、今回の共進會は福岡縣實業團體が主となり、それに縣と市で補助金を與へ直接に大に盡力してゐるから曾て前大正二年に開かれた……それは色々の事情から頗る冷淡であつた……のに比すると

◆**内容も外觀** も餘程充實し花やかであると云ふ、會場内の陳列館は第一號館から第五號館に分れそれに林業館やら機械館やら朝鮮館臺灣館を初め色々附隨の建物が非常に多い、而して出品點數は如何程かと云ふに理事者側では當初八萬點位の豫定であつた所申込み非常の多數に上り十餘萬點に達したから餘程の注意を以て大査定を加へたとの事である、右の内一萬點弱の農産水産を除けば殆んど工産品であるらしい

◆**朝鮮總督府** からは木村屬外數氏が出張してゐて朝鮮館の準備に忙しい模樣であつた、朝鮮館は第一號本館の鈎の手に曲つた端の方に位してゐて約四五百點の朝鮮特産物を陳列する豫定らしい

◆**市中の裝飾** に力を盡くしてゐると話してゐた。それから九州では博多藝妓と云ふと無論顏も藝も第一等のものとしてあるが共進會内の演舞館で演じやうとする三券番連の手踊りは非常な趣向を凝らした素晴らしい花々しいものを見せるさうで三券競爭となり毎日猛烈に練習を續けてゐるさうな、共進會の蓋が開いたら博多の市中は煮ゑくり返るやうな賑ひを呈するであらう（博多にて大阪特派員）

京都大津間隧道大崩壞

死傷者なし

工事中の京都大津間大阪隧道西口より三千四百七十尺の箇所六十尺大崩壞　直に應急工事中因に死傷者を出さず

監督者を毆打して

兼二浦三菱製鐵所職工罷業

兼二浦三菱製鐵所鍛冶職工五十餘名は去る十八九日頃より賃銀値上げに付不穩の模樣ありしが遂に三月二十一日

△**職工側** の代表者四五名は有賀係長に對し現賃銀より三割方値上げを要求し萬一會社に於て該要求を撤回するならば一同同盟休業の擧に出すべしと威嚇したるが有賀係長は一應所長に其旨を諒りたる上何分の

△**處置に** 出づべきを申渡したれば萬一を警戒するため全部の召集を行ひ警戒すると同時に職工に對し現賃銀より一割五分の増給をなすことを代表者に申渡したるが之れを拒み

△**就業し** たるが之れを認めざりしたるため罷業二日にして何れも知せるコークス工場使用職工、熔鑛爐使用職工等も勢ひ賃金値上げを要求すべく目下寄々協議中也と

京都市瀆職事件

益々擴大

京都市會議員瀆職事件にて又復井口巳之助、伊藤庄兵衛の兩名收監されたり右事件に關聯せる收監者是にて廿二名内十四名は現市會議員、五名は市參事會員也（京都特電）

全南の大火

全南求禮郡内山面にて二十四日火あり午前七時頃發火して農家二十六戸を全燒し同十時半頃鎭火せしが損害約五千圓人畜には死傷なし原因取調べ中（共同特電）

牛場卓藏氏

曾ては明治十五年頃韓國政府の顧問として聘せられし事あり其後官を辭し民間に下りて實業界に貢獻し前山陽鐵道株式會社總支配人たり現に山陽毛織株式會社、千代田生命保險相互會社等の重役たる牛場卓藏氏は先頃來腎臓病にて小田原の自宅にて靜養中なるが昨今病勢重態に陷り近親者頻に心痛しつゝあり因に氏は今年六十九歲（東京電話）

女子高普卒業式

京城女子高等普通學校に於ては二十五日午前十時より卒業式を擧行し本科第七回卒業生四十三名技藝科第五回卒業生六名師範科第四回卒業生鮮人三十五名内地人五名同附屬普通學校第七回卒業生三十名に對し卒業證書を授與し訓辭を述べ總督代理學務局長祝辭を代讀し同高等普通學校長祝辭ありて式を終り別室に於て生徒成績品及び參考品を陳列し縱覽に供せり來賓には松永京畿道長官、高橋陸軍少將各中等學校長等なり

各小學校卒業式

東大門、西大門、南大門、鍾路、元町の各小學校は二十四日午前十時半より日の出、櫻井、龍山の各小學校は二十五日午前十時半より孰れも卒業證書授與式を擧行せり貞洞普通學校は二十七日午前十時より卒業式を行ふ

朝鮮藥學會例會

朝鮮藥學會にては二十四日午後七時より旭町二丁目山岸天佑堂試驗部に於て例會を開き樋下田氏の『京城の水』岡田氏の『忠清北道巡視雜感』山脇氏の『兼二浦視察雜感』片山氏の『滿洲に於ける化學工業』村田氏の『稻の害虫驅除藥』吉木氏の『大邱及大田の藥令市』等有益な講演あり會員多數の來會者あり懇談の後十一時散會せり

京龍將棋大會

龍山十友會の主催にかゝる京龍將棋大會は廿四日正午より龍山榮町新玉に開催せられ盛んなる手合せありたる結果左記の諸氏入賞したり然して富田京城より木本京龍東務百三十余行石川氏の外數名來會し次回は京城側より龍山に挑戰することゝなり夕刻散會せり

△一等蒲生△二等居△三等大山△四等祝△五等大多和△六等井上△七等石川

和順の山火事

全南和順郡東面天雲山は去る十六日午後一時より燃え始め十八日午後四時まで燒け續けたるが燒失面積は七百町歩にして立木三千本を燒きたるが何れも民有にして原因及び其他の損害目下取調中なりと

冬物はどうして藏ひませうか

◇洋服は必らずクリーニングに　◇和服は桐の簞笥に樟腦入れて　◇度々縫ひ直す程長持ちがする

彼岸過ぎの暖かさに追々衣更へを遊ばすでせうがそれに就ては汚れの目につく多くの物のお始末にお忙しくなるのもこれからでございます、それはいかがいたしたらよろしいでせうか和服でも洋服でも

◆**襟垢や手垢** の著いた處を調べて、少々の汚れなれば揮發油で汚れを去り、陰干しにして臭ひを去つてから、叮嚀に火熨斗を掛けて仕舞ひます、繊維に汚れた和服は勿論洗ひ張りして縫ひ直さねばなりませんが、少々の汚れでもお縫ひ直しをお勸めしたいのであります衞生の上から申しても

◆**經濟** の上から申して一年に二度ぐらゐお縫ひ直しになるのがお得によいのでよく手をお入れになると七年持つ品は十年も十二年も持ちます御婦人が裁縫が上達しないとつい臆劫になります現在の日本はまだまだ和服は廢されない事と存じますので、裁ち縫ひを

◆**練習** 遊ばす事がお若い方に大切と存じます洋服類は刷毛をよく掛けて塵埃をよく去るやうに注意遊ばして、長くお召しになつた服は、必ず西洋洗濯にお出しになつてクリーニングをおさせにならねばいけません、鳥渡見たところ汚れはないやうなのでその儘仕舞つて置き

◆**梅雨** 晴れに取り出して見て黴の生えたのに驚くことは間々あるのでございます。假令お縫ひ直しになつた品でも、お仕舞ひになる時は必ず一度日光に晒し、風をお通しにならねばいけません衞生の爲めにも殺菌の爲めにも日光消毒は大切でございますそれからお仕舞ひになる品物ですがこれはお持ち運びの上から申しても桐の簞笥から申しても

◆**濕氣** を受けない一番でございます。御大家で土藏になどへお仕舞ひになる向は長持などもよいのでございませう置き場所は濕らない所で空氣の通ふやうに、それから濕氣を受けるから壁から間を少し離してお置きになるがよいのでございます。

◆**絹物** のお袖出しには樟腦を底に入れ新聞紙をその上に敷いてお入れになるがよいので、著物の間になどお入れになりますと、個には衣服に斑點の出來ることがありますから、これは注意なさらねばなりません、毛織物にはナフタリンを樟腦と同じ方法でお入れになるか、さもなくば上下周圍など虫の入り込む場所に布

◆**海苔** をお敷きなさるがよいのでございます、兎に角衣服には手入を怠るといふ事が一番悪いのでございます

讀者文藝（一等には五十錢の郵便切手を呈す）

▲下句付『覺めるは』

○覺めるは何んの供養や寺の鐘　京城本町　村雨夜之助

（二句）

▲春の女神の家なり　京城　東海

▲安居か土手の神泉の酒　御成町　角田坊

▲花を見せじと霧の山　京城　一夢

▲見飽かぬ限り花の盛　京城　春花樹

▲詩紡込る鐘の里　花岡町

▲雪より出でし若葉色　京城　兎舟

▲花にやあらむ霞蔭る　淸州　一笑子

▲浪路はるけき沖の島　霧屋子

□募集規程　▲川柳は隔週又は同形の川柳一枚を毎に雅號又は本名の外に住所氏名明記の事

大阪期米

△二十三日後場

天氣

西風小雨晴

商況

東京期米（持合）

兵庫期米

大阪株式（持合）

大阪三品（持合）

大阪期米特電

下關期米（持合）

雜報

鮮米格は三圓迄

三品昂騰す

二十錢高　米棉一圓

再び四百圓臺に復す

正米急騰す

スレ遂に極度の品ガ

以上跳返す　七十丁方

前高値を凌げる勢ひ

支那棉益高騰

到底覺束ない狀態　新規輸入の如きは

臼米跳返す

下關相場

南大門の廻穀

市場雜觀

引上一躍三十錢方

小賣値も五厘方引上げ

再び過般の高値に復

毛皮類下落

相場も一齊下落

四割内外の安値

乾物類下落

大根の干瓢及千切

椎茸凍豆腐

野菜類も低落

仁川正米

多少强人氣

仁川期米

二十五日前場（保合）

先二十一圓九十六錢と一昨止より四錢安に寄付

九錢安の入電

押し依然保合の裡

九十九錢

仁川米豆取引所　二十五日の五月限

玉はドデン買越

買物に對抗

從來の賣

麥作も益樂觀

仁川米豆取引所仲買人　三巴仲買店

田中金兵衛商店　仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町

十仲買店　仁川海岸町三丁目　仁川米豆取引所仲買人

金仲買店　仁川米豆取引所仲買人

大五仲買店　仁川米豆取引所　店主　猪飼政太郎

廣澤正次郎　仁川米豆取引所仲買人　仁川海岸町

北濱たより

仁川期米

▲二十五日後場　大阪前止め小安後寄未著にて中二十二圓先二十二圓と寄付〆二錢を打止めたり

後場當限出來不申
△中限一節二十二圓二節〆五錢
△先限一節二十二圓二十二圓〆一錢二錢一錢二錢二節〆三錢二錢一

八錢七錢

仁川米豆取引所

二十五日　五月限

◎連絡船上陸客　二十四日

午前入港新羅丸一二等客

同養通、[illegible]、新[illegible]、誠順、弘法周造、別府八百吉　三等（三百九十五名）

大連より

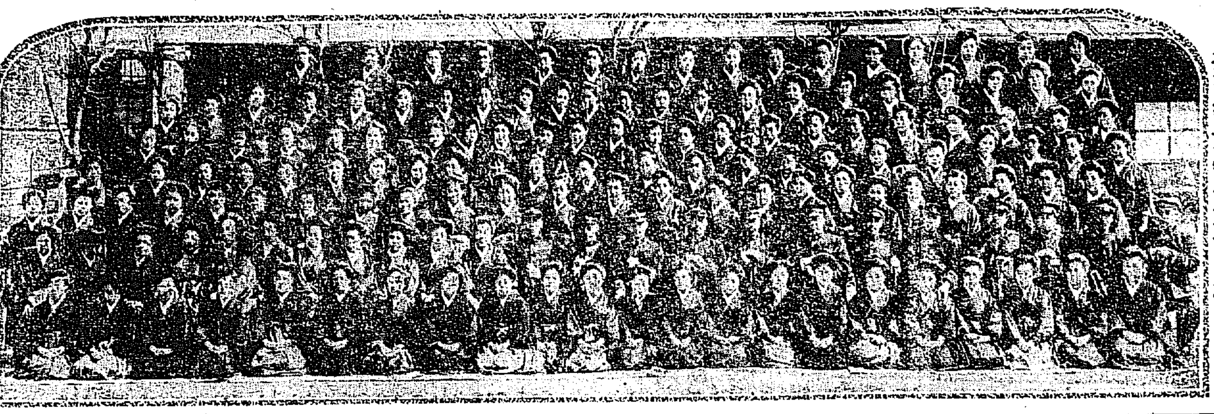
○滿洲には今猶ほ滿妻多し謂ゆる滿妻とは朝鮮の鮮妻、支那の滬妻と同一意味のものにて男女相對づくにて内縁を結べる婦人の謂なるが其の多くは藝酌婦即ち醜業婦の成上りなり然るに兩親之を許し公然籍を移し立派に結婚式を擧げたる婦人に對してまで滿洲に於て結婚せりとの故を以て之を滿妻と呼ぶ者あり誤れるも亦甚し

○社會の斯る誤解は遂に良家の處女に一種厭ふべき思想を懷かしめ滿洲に於ての結婚を絶對に忌避するの風潮を作成せり事は最近の出來事なるが大連市伊勢町井沼某の長女お何は旅順の高等女學校を卒業し既に婚期に達せる爲め某の媒介にて滿鐵社員山野某との間に婚約成り兩親は大に之を悦び居たるに娘は之れに不服を唱へ滿洲の地に於て結婚するは滿妻の不名譽を買ふに過ぎざれば斷じて結婚せずと言ひ張り遂に半ば成立せる婚約をして破談に歸せしめたり

○彼女の言ふ所に據れば旅順の學校に在りしとき先生より滿洲に於ての結婚は將來を誤まる基なりと言はれしゆゑ此の先生の教へを守り敢て此の婚約を拒絶すといふにあり由なる學校の先生が果して斯る言をなせしや否やは明かならず寧ろ滿洲の社會が滿洲に於て正式に結婚せる婦人をも一齊に滿妻と呼ぶを不快に思ひ兩親の悦ぶ婚約をも拒絶せしに非ざるなきか此類の婦人は他にも是れあり

○即ち彼女の平素親しくせる同じ學校出身の春江とかいふ婦人は疾く既に婚期に入れるにも拘らず滿洲に在る間は決して結婚せずと頑張り兩親に向つて頻に歸省を求め居るといはれ猶大連市東郷町松永某、盤城町水野某の娘もやはり旅順高女の卒業生にして何も結婚は内地に於てすべきものなりと唱へ兩親を説落して近く内地に歸還すべしとの取沙汰なり

○教育を受けたる若き女が斯くも揃ひて滿洲に於ての結婚を忌避するは社會の罪なると共にまた植民地における女子教育に缺陥あるの致す所にあらずと謂ふべからず而して是れ植民地發展の前路を阻害する一問題なり輕々看過すべきことに非ざるなり



京城高等女學校第十回卒業生

◎需要最も廣き 煉製の無煙炭

釜山にて　小杉博士談

◎朝鮮無煙炭坑株式會社は京都の濱岡光哲氏を社長とし資本金二百萬圓を以て昨年四月本社を京都に置き平安南道江西郡甫津面に五坑區の認可を得たが現在では第一坑區より採掘して居る採掘高は一箇月約四千噸位であるが創立當時の豫定は一箇年少くとも十萬噸は採掘し得るものとしてゐた今回の採掘も第二坑區に移ることになつてゐるから數量も殖る事になる一體普通の無煙炭は

◎炭素の含量が五十パーセント内外であるが本坑から採掘されるものは骸炭であるが八十乃至九十パーセントを含み頗る品質は優越したもので原炭の儘販賣して居る處は熊本の窯業肥料株式會社へ一箇年約二萬噸を始めとして諸所へ販賣してゐる然し普通の料としては贅澤に過ぎるので多くは肥料其の他煉炭用としてゐる、本社も平壤と鎭南浦との中間驛と煉炭工場を設立し

◎殆んど完成して居るが工場の運轉開始は遲くとも四月下旬迄には行ふ事にしてゐる一晝夜の製造力は約六十萬噸の豫定であるが之れと同時に大阪築港に市より一萬三千餘坪の土地を借り入れ煉炭事業を開始の事に決定して着々準備を爲しつゝある販路は關税の關係上內鮮共製品地を中心として販路を開く積りであるが製品は主として運所向の物であるから比較的需要に迫はれる事と思ふ（完）

◎鑛量は殆んど 無盡藏なるも

◎經營の如何ぜん◎

平北厚昌郡厚昌鑛業所長砂川工學士は同鑛經營方針打合の爲め過般平壤通過大阪に向ひたるが氏の談左の如し

◎今猶ほ積雪　厚昌銅山地方は今日猶八寸乃至二尺の積雪あり氣温氷點下二十度前後の寒氣を持續しつゝあり加之ならず交通の不便は極度に達し陸路新安州より安滿道路に沿ひ江界を經由すれば八十里餘水路を辿るときは新義州より慈城江口を經て實に百三十里の行程あり從つて物價は非常なる高價を唱へ一本の

◎麥酒が一圓　酒一升二圓と云ふ相場を示し事業經營に就ては頗る愼重の考慮を要するものあり斯の如き狀態とて銅山の如きも此經營の增當する點に於て今尚調査研究中に屬すと雖も鑛量の豐富なるは實に無盡藏と稱するも過言にあらざれば大規模の下に經營するに於ては採算の出來難きこともなかるべしと思惟さる本年は運輸交通調査會の爲めに鴨綠江氷上を利用し目打機械類等一個約二トンにも及ぶ重量物の運搬を爲せる頗る

◎好成績を收めたるも時日を要し容易に捗々しからざるより七年度は該機械類の運搬は新安州より江界經由の方法を採るべき方針なり尤も具體的の事は歸阪の上打合を了し之を發表すべし

◎幾ら拵へても 船が足りない

◎小型船で貸船一日六圓◎

近時諸事業界の進展に隨ひ一般交通運輸事業は愈々繁忙期に入りしが見たる今日に於て大同江に於ける運搬用の不便尠からず殊に解氷を運送用鎭南浦平船及び艀船等に大たる不足を告げ鎭南浦のみにても五十餘艘不足し運輸交通上支障尠からざる狀況なるを以て本年一月以降平壤稅關に於て三十噸積以下十四艘の船舶を建造したりしが是にても尚ほ需要を滿たす能はず今回三菱製鐵所鑛石運搬用として一艘一日六圓の使用料を以て貸付契約を爲し居る位なれば今後大同江に於ける運送用船の製造は最も緊急の問題として將來內地より船大工を呼寄せ大に造船事業の擴張を圖るべき必要ありと某實業家は語れり

◎平壤に設置の 製絲工場

◎蠶繭生産高三百餘萬圓◎ 立派なる蠶業地になりし朝鮮

朝鮮に於ける養蠶業も新政以來當局の指導獎勵に依り近時漸く面目を一新するに至り生産額の增大と品質の向上を示し來り昨年中蠶繭輸移出額實に三百十五萬四千三百圓に達し之を大正五年度に比すれば百六十五萬四千百圓の增加を示し朝鮮重要輸移出貿易品中の第位を占むるに至れり然して平南蠶絲の一戸當生産額は平均三斗三合にして收入僅かに十數圓に過ぎざる程度なれど今後益々之が普及を圖らば農家の副業として益々發達すべき事なるが元來朝鮮の蠶繭は繭の儘內地に移出せられ製絲事業としては未だ見るべきもの少かりしが最近漸く企業家の注意を促し昨年鎭南浦に於て齋藤久太郎氏の經營に係る京城の齋藤製絲工場の設立を見たるが之とて現在の生産力は一箇月漸く四十貫前後に過ぎざるも完成の曉には一箇月優に二百貫以上を製出し得べく其の成績如何に依りては平壤に分工場を新設すべき計畫あり亦京城に於ける資本金百萬圓の朝鮮製絲株式會社の成立を告げ工場を京城、平壤、大邱の三箇所に設置し三百釜の設備を爲す筈にして多年の懸案たる平壤製絲工場問題も解決の曙光を認めたるもの〻如し尤も右は何時實現すべきか今日にては之を豫想すること能はざるも幸ひ平壤は原料豐富なるを以て工女の養成に成功せば斯業の隆盛を見ること決して至難にあらず今や一面絹人の發起に係る資本金五十萬圓の製絲會社も設立申請中にして旁々斯業は愈々勃興の機運に際せるものと云ふべし而して更に染織事業の發達をも見るならんといふ

◎平南線と增發問題

平南線列車增發問題に就ては曩に南浦商業會議所より度々當局に陳情する所ありしが當局に於ても夙に其の必要を認め居たる事とて及ぶ限りの差繰りを加ふる事となり南浦發午後十時平壤發午後七時の二回增發を決したる由にて多分四月若くは五月より實施するの運びとなるべしと

◎大邱より忠州への 自動車運轉開始

大邱大和町伊藤吉三郎氏は今回自動車三輛を購入し內一輛を以て大邱忠州間の運轉を準備し居る一輛を以て大邱忠州間を每日一回運轉せしむる事とせるが其の時間は大邱を午前七時に發し途中八時間を費やし午後三時到着する豫定にして二十三日午前八時より之が試運轉を爲す由なるが同日は自動車三輛を以て鈴木道長官、大橋警務部長、吉松第一部長、木村土木主任其他府廳より一名及び新聞記者等同乘忠州に一泊の上二十四日午後三時歸着の豫定なりと

◎種薯の昂騰

忠淸南北道に年々共同購入する馬鈴薯種子は本年は內地に於ける食糧品の昂騰著しく一等品百斤に付四圓五十錢乃至五圓を稱ふる爲め大田地方の商人に於て以前より手附金を附して買漁りを爲し居る趣にて大田地方の一般農家は同種子を入手し得るや否やを懸念し居れりと

◎大同江の 底から寶の山

沈沒品引揚工事

京城杉市郎兵衞氏より出願に係る大同江沈沒品引揚工事は結氷中一時中止の狀態なりしが解氷と同時に其準備を爲し去る二十二日より引揚に着手したるが成績頗る良好にして鐵材其他江底より多額の財寶を得つゝありといふ

◎强盜の頭は 六十二歳

◎强盜の首魁は五十二歳◎

住所不定の衰學生（六二）は有名なる强盜の首魁にして部下四五十名を率ゐ大邱監獄に於て死刑を執行されし金錫彦を荒せし惡漢なるが過般安藏成の同類にて四五日前宜寧邑內市場に現れ買物をなし居る處を宜寧署の朴刑事の爲めに捕縛され取調べられたる結果强盜放火十數件を自白せしも尚ほ餘罪ある見込にて取調べ居れるが同人は各地に散在せる部下に累を及ぼす虞れあるものか頑として自白せざる由なるが一先づ一件書類と共に檢事局に押送したり而して同人は死刑を覺悟し居るには流石の係官も舌を捲き居れりと

◎初茄子と筍とが

◎平壤市場へ出た…相場◎

初茄子の味は又格別に食べさせるなさいふ初茄子の出るのもでであるが平壤ではモウ本春の初茄子が魚菜市場へ現はれて一本八分位の相場が十錢以上で食膳を賑はして居る又筍も新物が出て一箇目二三十錢で初相場が立つたさうだ尤も小口の新物はモウ十數日前に平壤へ入荷したさうである（平壤）

◎檢事の金を盜んで 娼妓と駈け落ち

黄海道海州生れ南山石（三五）は平壤東町十四番地平壤地方法院檢事遠藤氏方に雇はれ中去月二十二日主人の不在中現金八十圓と外に時計衣類等時價百數十圓のものを窃取し其足にて豫て馴染ある賑町遊廓朴蓬萊方抱娼妓桃花（二二）を誘ひ出し手を取つて粹な道行きと洒落込み兼二浦の沙里院等を逃げ廻り京城に逃亡せし形跡あるを探知せし平壤署の刑事は早速京城に急行して搜査の末市中徘徊中を取押へ平壤署に連れ來り目下取調中なるが桃花は此の騷ぎに乘じ何れへか逃亡し所在不明なりと

台所 その日く

◎胡麻味噌汁◎

胡麻味噌汁は大そう味のよいものです白胡麻を小鍋に入れ少し火に[illegible]皮が剝けたらオを布巾にあけて[illegible]ます

▲廣告▼

百圓の資金で一時に千圓五千圓儲かると云ふ様な冒險的の空想ではない白圓の資金を三年の間に十倍以上に吃度する元金の安全な投資方法即ち確實に利殖する方法を本紙讀者に限り詳報す希望者は此新聞を添付送（五厘切手貼用）するか又は本紙で見し旨記入ハガキで照會あれ　大阪西區九條通一丁目　共成社

外務員募集
一、身元證明書履歷書相添へ志願
一、セラルベシ
業務及報酬ハ委細通知ス
日本勸業銀行債券取扱
東京市京橋區北槇町武番地
日本商事合資會社
證券部

歐醫 病室設備 天野家畜病院 京城[illegible]町九七

池坊立華生花大會
來ル三月廿七日廿八日兩日間南山東本願寺ニ於テ故武藤松翁七週年追善並ニ華友會春季總會開催
縱覽御隨意
主催 京城 朝鮮 池坊華友會

菓子職人 四名至急入用
平壤南門通 井上日韓堂

勸業債券 六十八回有之候
◎時節柄株式界も漸次下落したる際…各地株式店…

朝鮮名産 藍浦石 硯賞入札用硯石
石質堅牢彫刻精巧爲物産獎勵御愛用乞ふ
忠南大川 多田到
市品陳列 圖[illegible]一手販賣

本年春代價表進呈
山林用苗
景樹苗木
野菜種子
草花種子
花卉盆栽
農具肥料
朝鮮平壤 肉田百花園

舶來品 破格安賣
鉛筆 入箱 參圓
壹本二錢三錢五錢四錢七錢拾錢の品物取交ぜて入荷送料毛賃荷造費を除けば壹本代引換金（大箱入）也
三百位（大賣）此際至急御注文を…
貳圓入添呈
京城府南大門通　三長商會

星印ソース
今やいづれの御家庭にても星印ソースを御愛用になる
本品は其品質と賣行とに於てソース界の明星なり
全國到る處の洋酒食料品雜貨店にて販賣す
發賣元 大阪市 祭原伊太郎

最新流行 時間正確
新荷著 純ニッケル側十二形アンクル腕卷 堅牢無比 金拾壹圓
瑞西國製 銀側腕時計 特價金七圓
本品は當部が至急御下命を待つ新流行品最新金側懷中時計取揃居候
京城太平通一丁目 京日代理部 振替京城二〇〇番

岡本齒科醫院
京城本町一丁目

質 債券買入
倉庫完全 杉本質店
京城櫻井町二丁目 電話三一〇三番

耐火煉瓦
▲蠟石煉瓦（三十番より三十四番）
▲シヤモツト煉瓦（三十番より三十四番）
▲ダイナス煉瓦▲マグネシヤ煉瓦
▲耐火モルター其他耐火物各種
平壤府橋口町（電話壹貳五番）
合資會社 京谷商店

◎製造開始
食パンとアンパン
是非他店のパンと御試食を乞ふ
技術と品質は優良
開業祝として二十七日より三日間二割引
京城永樂町二丁目（本町角）
吉武神戸屋
電話四二九番

孃よ孃は學者の創製せる美顏ユーマーを召せ
御皮膚顏色は更に美を加ふべし

支部長並に代理店長至急招聘
▲縣下に於て最も信用あり熱心且つ永久に勤務し得る紳士を招聘す
▲志望者は履歷書至急送附の事 東京市麴町區三番町五十一番地
一般金錢貸付 勸業債券月賦販賣
有價證券現物賣買
勸業貯蓄合資會社

腦神經病特效藥
キツト効驗現る
一週分を試みよ
健腦丸 KENNOGWAN
腦、神經衰弱症
大酒家、喫煙家、常に頭腦を過勞する人々よ常用せば怖可き中風卒中を未發に防ぎ快通を快し記憶力を增進す
主効
▲腦充血▲逆上▲頭痛
▲腦膜炎▲耳鳴▲鬱憂
▲神經痛▲眩暈▲健忘
▲腦卒中▲不眠▲便祕
本舗 丹平商會

勸業債券特別高價買入
御賣却は債券番號御送金致します
新債券 六十八回月賦賣初回貳圓著金（二十四本）
組賣 每月二千圓の…
債券一枚でも低利貸付ます
出張所主任代理店主募集 月給百五十圓外歩合收入多し
大日本勸業合資會社
東京丸の內有樂町一の三 電話本局二六九七番 振替東京一七六番

內科 胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話一三七二・九番

塚原卜傳

第二十六席 悟道軒圓玉口演

塚原小太郎は近江與膳の道場を飛出し、足を早めて京都をさして登りました、堅がは王城の地、應仁の亂後花の都も荒れはてゝ衰へたとは言ながら未だ足利十三代の頃は仲々の繁昌、三條大橋の山城屋儀右衞門といふ旅宿へ足を止めて初めてじありますから、小太郎京洛の街々を見て歩く、まづ王城は申すも畏こく、室町御所の榮華のさま、其外名所々々には祇園、清水、加茂、北野、神社佛閣は數ふるに暇なく、月雪花四季の眺めは幾度見ても見飽かぬといふのが京の風情であります、分て七月の初めの事で四條五條の橋の上、又は

磧の夕涼みに群集雜踏いはん方なく、其頃流行初めた都歌舞伎といふ今の芝居の初まりでありますが、名に負ふ美女が種々の風俗をして踊り戯れ、其外興行物は數知れず其賑ひに驚かの小太郎も揃ろいて毎日のやうに見物して歩いて居りますが或日の事北野神社から金閣寺の方へ參詣して夕景になりましたから、立歸つて來る途中、後になり先になり連立て行く三人の武士何れも美々しい衣服を著し金銀鏤めた大小を帶して居るのは身分の卑い武士ではないと見ゆる瓢簞を提げて居ります○『何と各々どうぢや、山名監物といふ男は馬鹿だな、其れに反して岩成殿は大した器量人、まづ後の位分る人物はあるまい△『たゞ樣々な我々も岩成氏の御引立てに依つて今日のやうな遊山の出來る自分になつて居る、三好三黨といふ中にも岩成氏が第一の勢力だ、山名なぞは時勢を知らん大白痴我々の目から見れば愚人も愚人大愚人だ×『まづ三好黨に隨つて居すへすれば榮耀榮花は心のまゝでござる、將軍へ忠節なぞと申すは即ち時代後れ……』○『御尤でござる』と一杯機嫌で高聲に話をして行く、小太郎之を聞て 小『アヽ足利公の威權も地に落たな三好長慶や松永或は岩成なぞいふ奸臣が左右にあつて機會を窺ひあはよくば天下を殺さんとして居る其れを知らずして將軍義輝公は酒色に溺れ給ひ、政務も疎かにし給ふとか、山名細川なぞいふ忠臣もありといへど思へば歎かはしき世の中の有樣心細い事である』と心中に歎息して後から尾て來る、其中右の武士は右の方へ切れて行つて了ひ、小太郎一人やつて來たのは一條堀川、戻り橋といふ橋へ差懸つて參りました、渡邊の綱が鬼女の腕を斬り取つたといふ有名な橋で、橋詰に安倍の晴明を祀つた小さなお宮があります。最早初更人通りも途斷れて月は冲天に冴渡り、川風颯を打つて涼氣骨に沁む許り、何氣なく橋を渡らうとすると前の方へバタ〳〵と急ぎ足に渡つて行く女がある。後付の樣子では年も十七八かと思はれるが橋の眞中まで往つたと思ふと前後を見返して人が來るか來ないかと窺ねやうに物蔭に忍んで見て居ると、思ひ出したやうに右の婦人がサメ〳〵と泣いて居たが軈て欄干へ寄つて 女『父上樣どうぞお免し下さいまし、南無阿彌陀佛』と唱名してアハヤ身を躍らせて飛込まんとする、小太郎飛懸つて後ろから帶際を引捉らへ 小『コレ待て、仔細は知らねど無分別をしてはならんぞ』と聲を懸けた、右の婦人は吃驚して 婦『イエ何うしても死なゝければならない事がございますお慈悲に何うぞお見逃しを願ひまう存じます 小『慈悲に見逃せば飛込んで了ふ無分別な事をいたすな拙者が通懸つたも宿世の縁であらうマア死には何時でも死ねる急がずとも宜い。拙者に一應仔細を話して見なさい亦何とか相談對手にも相成らうから』と言ながら其女の顏を見れば、雨に惱みし海棠か將又風にもまるゝ漁村の柳、打悄れたその態は男子をして惱殺せしめると云ふ物騷な女でございます

牛乳
衛生的 新鮮 滋養 御用 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

今日のおやつは モナカときめて 電話かけましよ木村屋へ (京城明治町 電二八七〇)

三月廿七日 九星
舊二月十五日 癸酉 本命 四緑 佛滅

▲四緑 平地に風波を起さんとす新事見合せ[illegible] ▲五黄 [illegible] ▲六白 [illegible] ▲七赤 一寸一ぱい喰はんさ[illegible] ▲八白 頑固なる[illegible] ▲九紫 剩餘ある[illegible] ▲一白 [illegible] ▲二黒 [illegible] ▲三碧 [illegible]

演藝案内

壽館
京城本町 電話一〇五〇
浪界泰斗京山圓玉一行開演
當る三月二十六日初回
▲塚原小太郎(京山小玉)▲召集令(無相軒富士丸)▲寛水御前試合(桃中軒富士衞門)▲南面金太一原(天華)▲義烈百傑(東家浪月)▲團十郎妻子別(一▲水戸黄門記(二席)京山圓玉)▲餘興落語踊
入場料一等金三十錢二等二十錢三等十錢

大正館
櫻井町 電話八七三
日本活動寫眞株式會社特約代理店
當る廿二日より大寫眞提供
△立花貞二郎一座 ○前の[illegible] ○新派悲劇 ひな鳩 全三卷
[illegible]

黄金館
電話二六三七 二六六
[illegible]
▲新派喜劇 [illegible]
▲活劇 死の簡 全三卷
▲天活新撮影日本劇 [illegible]
▲舊劇 日蓮上人御一代記 [illegible]

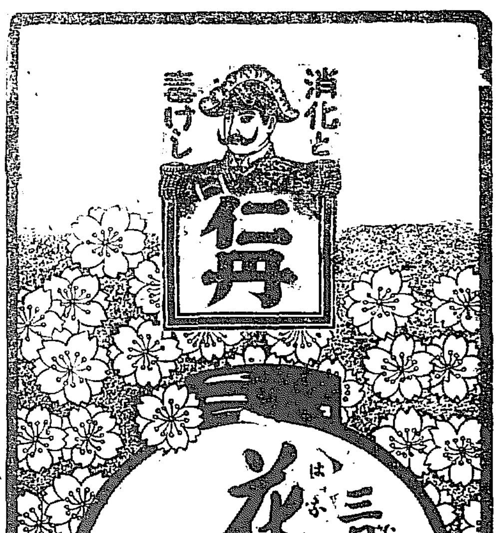
浪花館
明治町二丁目 電話二六〇番
大阪娘義太夫竹本若千代一座
五日目語りもの(三月二十五日)
▲御祝儀賓の入舟(入登)▲妹脊山四段目竹雀の段(森子)▲卅三間堂棟由來平太郎住家の段(光三)▲玉藻前三段目道春館の段(圀八)▲浦里時次郎山名屋の段(源吾)▲忠臣六つ目勘平腹切の段(龍光)▲花袋佐倉の宗五郎子別れの段(廣治)▲太功記十段目尼ケ崎段(若千代)
入場料大勉強特等の外廿錢均一
愈々廿五日限り千秋樂

有樂館
東京小林商會活動寫眞一手代理店 米國ユニヴァーサル會社特約
電話(階上)五九七番(階下)三〇五番
○人情劇 孤兒の生涯 全五卷
○舊劇 繪本太功記尼ケ崎の段 三卷
○新派劇 木枯しの果 全四卷
[illegible]

春先の髷形は なふわ形に限る

むすんで格好よき なにわ帶揚シン ゐれや
大阪 東京 全國到る處小間物化粧品店にあり

大募集
米國運的中
米商日本相場成功策
[illegible]
神誠館



銘茶 鰹節 海苔 淺草 京澤 東 廣 浦 ㊣ 仁川 ㊣ 青嶋商店
電話七〇九番 振替京城六〇番

新藥 淋病 ツヨール
故下山藥學博士、慶松藥學博士證明、田中醫學博士實驗、朝比奈藥學博士、岩川醫學博士檢定、笹川醫學士、加藤醫學士、由良醫學士等の實驗の結果理想的内服治淋劑と確定さる
▲本品は殺菌力を有し且胃腸に胃腸を寄せず膀胱カタル、尿道炎、副睾丸炎、膀胱炎、淋毒性其他一般慢性、急性淋病に偉効を奏す
百錠入壹圓八拾錢 五拾錠入九拾五錢 三十錠入六拾錢
●說明書無料贈呈す 製造元東京市日本橋 ツヨール商會 ▲發賣元大阪道修町 田邊五兵衞 振替大阪八六七番

京城旭町一丁目
内科小兒科 小林醫院
入院隨意(普通病室並に隔離病室) 醫學士 小林千壽
電話六九二番

● 時候の變り目と 家庭必備の檢溫器
商標 PINE 代表的 模範 檢溫器

優美サック入 定價壹圓四十錢 郵稅十二錢
朝鮮總督府醫院檢定證附
▲熱!熱!!熱!!!▼
此の問題は始めてパイン檢溫器の權威と確實により解決する事を得べし
パイン檢溫器發賣元
京城太平通一丁目 電話長三六〇 振替京城三〇〇番 京城日報代理部

外科 皮膚科 瀨戸醫院
京城旭町二丁目(舊三丁目) 電話二四九八番
(診察夜九時迄)
醫學士 瀨戸潔

汽車
京釜線(南行)
同(北行)
湖南線(南行)
同(北行)
京義線(北行)
同(南行)
兼二浦支線
京仁線
同(仁川行)
京元線(北行)
同(南行)
[illegible]

第五版

京城日報

二十六日刊（朝夕刊併せて八頁）

……暴騰し遂に昨年大戰前の價格に比し……又埃及棉の輸出問題に……材料に刺戟せられて市況は寸歩……の狀況と昨今の狀況を比較……

狂熱的色彩

……十二圓本年は石炭の暴騰……を加算したるものにて原棉は採算せず……右表に依れば原棉採算に於て昨年……程度までは人氣作用に依りて左右……巨額を示したると一般經濟界の順……通貨の膨脹となり大に……果は遂に高騰……なるに拘らず買進み……好勢の割合に相場は上放れを演……ざるなり今試みに昨年狂熱期の……即ち昨年七月上旬より本年は三……萬八千三百七十五梱の在荷增加を……るに難からざるべしと（東京）

遊支偶錄

蘇峰生

（六四）興亞的一大新聞

若し日支親善を、事實の上に現呈せしめんと欲せば、只だ須らく支那に於て有力なる新聞、雜誌を發行す可し。是れ實に卽今の急務也。「北支那日日新聞」の如き、其の紙數は、眇焉たるも、其の勢力は、隱然一敵國の觀をなし、實に支那に於ける英國勢力の重鎭たり。而して我が日本にして、未だ之に比す可き有力なる機關なきは、如何にも大なる手落にあらずして何ぞや。

然も若し支那に於て、日支親善の機關新聞を發行せんと欲せば、其の目的を閑却す可らざる也。卽ち出來得る限りに於て、公平中正の態度を持するを是れ也。單に自から之を期するのみならず、支那人をして、斯の如く思惟せしむるを要する也。若し然らずして、徒らに褊狹、固陋の我利的、主我的の言論を逞うせん乎、是れ日支親善の機關をして、日支不親善の機關たらしむる也。此の如き有害機關は、寧ろ無きに若かざる也。

若し吾人の希望を、無遠慮に告白せしめん乎。日本も、支那も眼中に措かず、只だ興亞の一天張りを主要とする、大旗幟の下に、日支人協同の一大新聞を、發行せしめたく思ふ也。されど新聞紙の營業たるや、合體體に失敗して、專制體に成功す。寧ろ何人か自から獻身的に、此の目的の爲めに、此業に從事する者あるを望む。されど志ある者は財なく、財ある者は志なし。而して財あり、志ある者、亦た必らずしも適材と云ふ可らず。されば此事たるや、皮相より見れば、一擧手、一投足の勞の如きも、實は至難の業たり。

若し日本人にして、自から率先せずんば、英、米、獨逸其他の國人にして、必らず之を實行する者あらむ。其時に迨んで、如何に七顚八倒するも、時機既に晩しと云はざるを得ず。

開戰後の哈爾賓貿易（四）

哈爾賓は又隣接露領に對し諸穀類の供給地として從來重要なる地位を有せり卽ち是等の地方は穀類を產せざるを以て哈爾賓より毎年小麥、小麥粉、粱、大麥、黍其の他の穀類千萬布度を供給するを例とせり一九一三年迄は小麥粉の輸送を最多とせしも一九一三年一月一日より小麥粉一布度に付四十五哥の課稅を徵收せらるゝに至りて無稅なる小麥の需要を增加し沿黑龍江州の如き滿洲より小麥の供給を仰ぎて自ら製粉するに至れり沿黑龍江州對滿洲の穀物取引は開戰後州民の出兵及び職業の衰退により人口減少せると西部西伯利亞產穀物の極東進出の爲一時著しく退步せしも一九一六年より復又增加の氣勢を示し小麥粉の輸出亦見るべきものあるに至れり卽ち左表の如し因に數字上段は自一九一五年七月一日至一九一六年六月三十日下段は自一九一六年七月一日至一九一七年六月三十日（單位布度）

輸出地方	輸送便	上段	下段
沿黑龍江州	松花江舟便	一、三一四、七〇〇	八〇七、六〇〇
後貝加爾地方	鐵道便	四六一、一〇〇	一、四八〇、一〇〇
烏蘇里地方	鐵道便	一〇一、八〇〇	九九、八〇〇
總計		一、八七七、六〇〇	二、三八七、五〇〇
小麥			
沿黑龍江州	松花江舟便	一、六四五、〇〇〇	五二〇、〇〇〇
後貝加爾地方	鐵道便	八〇七、〇〇〇	一、〇三七、〇〇〇
烏蘇里地方	鐵道便	一、三四五、〇〇〇	三、四四一、〇〇〇
總計		三、〇五五、〇〇〇	五、〇九八、〇〇〇

滿洲穀物は沿黑龍江州其の他隣接地方の外一九一七年に至り其の販路をイルクック迄擴張せり是從來西部西伯利亞地方より同地方に向け供給し來りたる穀類の數量減少せるが爲にして其の他戰時に際し米國產及び上海產小麥粉の輸入杜絕により南滿に向け輸送せらるゝに至り東滿各驛より南滿に輸出せられたる穀物數量は左の如き增進を示せり（單位千布度）

	一九一四年	一九一五年	一九一六年
小麥粉	七九〇	九〇〇	一、四〇〇
小麥	七六〇	一、三〇〇	二、〇〇〇
計	一、五五〇	二、二〇〇	三、四〇〇

其の他南滿洲は北滿木材の大需要者にして一九一六年に於ける對南滿輸出數量は二百二十萬布度に上り全輸出數量三百八十萬布度の六割に當り新たなる記錄を現出せり

支那は今次の戰亂によりて生じたる國際貿易の變調に乘じ中立國として漁夫の利を占めたるも其の對外貿易の範圍は自國の船舶を多く所有せざるが爲直接自ら對外貿易の衝に當ること能はざりしに由るものなり蓋し支那の移出は戰前に於ては主として英國及獨國の船舶に依賴せるの狀況なりしを以てなりとす

今左に一九一三年以降に於ける對外支那貿易の總額を表示すれば（單位兩）

年次	貿易總額
一九一三年	九七三、五四七、一二二
一九一四年	九二五、四五八、〇一一
一九一五年	八七三、三三六、八八三
一九一六年	九九八、二〇四、三六一

前表の如く一九一六年に於ける支那の對外貿易總額は約十億兩の巨額に上り之を一九一三年（戰前）の計數に比すれば約二千五百萬兩の增加なり而して更に之を輸出及輸入に區分し對比すれば（單位兩）

年次	輸出金額
一九一三年	四〇三、三〇五、五六四
一九一六年	四八一、七九七、三六六

宋以後の繪畫（六）

於京城俱樂部　今關天彭氏講演

花鳥

唐代に芽を出して、宋に至つて繁茂したのが花鳥畫である。唐の花鳥畫は前講に申した如く邊鸞が出で、次に刁光胤や滕昌祐等が出た。これ等の人の出た時は唐末五代の時であるが亂離の世でも藝術を保護する地もあつた、夫は後蜀と南唐である。後蜀と南唐の國主は共に客髒を好み繪畫を好み遂に黃筌徐熙等の興起を見、此二人が宋に入つて宋代花鳥畫の大成を遂げたのである。

黃筌は後蜀の孟昶の繪所に召され後に宋の太宗の繪所に召された人である、黃筌の花竹翎毛は、寫生である。其の畫き方は先づ勾勒から來て、その畫き方は先づ勾勒即ち畫き拔きして置いて、後にその畫き拔きした中へ彩色を塡める畫き方である、之れが極めて美しく極めて生動の致を備へて居る。この畫き方は後世の花鳥界に大影響を與へたのである。また徐熙は南唐の名族で、風流でしかも畫に堪能なる李後主に事へ後に宋に入つた。この人は黃筌と對比すべき花鳥畫の大家であつて、後世の影響は黃筌に比して劣るところがない。その畫き方は當時流行したる色彩でぼかして畫上げる花鳥畫とは違ひて、墨で畫き上げて、後に少しく色彩を施すので、筆法の具合と色彩の調和が能く取れて、その狀殆然生物のやうであつたとの事である。この黃筌と徐熙とは花鳥畫の雙璧で、しかも二人の長所を互に取つたのが、徽宗の花鳥畫の趣味である。この二人の相違點はと云ふと、黃筌は富貴、徐熙は野逸と當時の俗諺にある如く、黃筌は主として禁庭の奇らしい花、珍らしい禽、または蟠螭たる怪石を寫して富貴の趣を極盡し徐熙は江南到る處にある水鳥、閑魚、野竹、幽花を寫して、野逸の趣味を遺憾なく發揮して居る。そこで批評者はこの二人を評して、花鳥界に於て、前に人なく後に人なしと云つて居るのである。

黃筌の子の黃居寀は宋の太宗の眷遇を蒙つて繪所に出仕し、父の畫法に工夫を加へて勾勒、塡彩の妙を極め、怪石や山景は特に妙絕なりと云はれて居る人で、その畫法が北宋院畫の鼻を開くのであつて富貴莊麗の極に達して居る、黃氏體とは卽ちそれだ。また郭熙の孫に郭崇嗣があつて、畫院の外に在つて沒骨寫生の畫法を發明し、そして輕淡野逸の態を極めて畫院に對抗した。徐氏體とは卽ちそれである。この沒骨畫とは墨筆を用ひずして直ちに彩色を以て畫くのである。北宋の畫院は神宗比まで黃氏體を用ひて來たが、崔白、崔慤兄弟の出づるに及びて一變した。また徐氏體には趙昌が出た。猿畫の名手として聞えたる易元吉はこの趙昌の畫を見て志を立て、遂に一力意を寫物寫生に注いで、遂に世に名を成したのである。我が國の森狙仙はこの人に私淑したのであらうと思ふ。米元章などはこの人を徐熙以後第一人と云つて居るであるから餘程の名家であつたのである。

元代に於ける花鳥畫の名手は、錢選（舜擧）と王淵（若水）とである。舜擧は趙子昂の畫法の師匠であつて、その花鳥は趙昌や易元吉から脫化した徐氏體沒骨畫の人で、明代の花鳥畫はこの人から流れ出るのである。また若水は趙子昂に畫法を受け、專ら黃氏體の鉤勒法を修めて綺麗な畫をかいた。この二人の外に趙子昂が黃筌再生すと雖も、また此かるものなるべしと嘆じたと云ふ陳仲仁や、盛懋などがある。盛懋は陳仲仁の子で趙門下の人である。

定價　一ケ月金五十錢　一ケ年金五圓……
發行所　京城太平町通一丁目　京城日報社
電話（編輯用）……

京日詩壇

〇盆梅　村上石城

要汝傲然凌雪霜、獨魁春候著芳裝、堪憐盆裏小天地、微笑嫣然送晩香、

評曰、寄託可見、

〇遇仙閣　栗原華陽

爲吏風流避世緣、奬忠洞下洞中天、俗人不到遇仙閣、金鵞松吟、

評曰、脫俗之境、

〇牧馬圖　太田芳洲

顧影長鳴髀肉生、時平何日樹功名、鐵蹄踩躪東郊草、也似陣頭飛躍情、

評曰、筆與馬飛躍、一讀爽人意氣軒昂

〇春夜訪僧　成田魯石

落花一路雪紛紛、遠訪禪扉日已曛、獅子座邀天上月、誰伸手指塔邊雲、分林候覺塵緣絕、煮茗且歡淸穎聞、身若曹谿逢六祖、心何處水活活、

評曰、蕭散閒淡之致、遂襟曠抱之概、縱筆所如、結構自成、

錺（かざり）

二十九　布施生譯

力なく宅へ歸ると驅出して出迎へる町子、美しい涼しい眼、心配の中にも心丈夫に思ふ樣子が眩々と見えて、こう覩られて見れば織衞の助かる道が無いとは今更どうして打明けられよう、流石の學士も磁と困つて書齋に獨り思案にくれてゐると思懸なく近衞騎兵大佐伯爵富山春義と云ふ客が訪ねてきた。

生面の客ながら奧へ通して面會すると大佐は軍人流の言葉爽に初對面の挨拶をして「今日こうして突然お邪魔を致しましたのは織衞の件に關してゞございます」。學士の面上に倏はと思ふ色が浮んだのを客は素早く見て取つて「いゝえ織衞と云ふ名をお聞になればどんなにお忙しい最中でも乾度御引見下さるだらうと存じました。世間の評判では織衞は恐ろしい殺人の下手人でそれをお認めになられないのは貴女お一人だと云ふ事でございます、貴女は多分何か織衞と云ふ人間の人物に見所があつてさう仰有るのでしやうがしかしそれでは結局貴女お一人のお考で、外面から見た證據と云ふものが具はりません、處が私は一歩進みまして現に輕地と云ふ錺職を殺害た當人を存じてゐるのでございます」。

聞いて學士は血の色を蘇らせ「それでは貴方が、そして其當の人は誰でございます」急込んで問ふのを客は沈着いて「外でもない私です」。「まあ貴方が、それでは貴方があの——」。殺人犯と言ひかけて呑込んだ學士の言葉を客は引取り「左樣私が殺人犯ですが、しかし此殺人ばかりは充分世間に誇つて可い値があるやうに思ひます、久しい間不思議な盜賊や殺人をしてしかも巧妙に口を拭つてゐたのは貴女外でもないあの輕地の奴でございます、實は私先達て彼奴に飾を誂へましたが出來上つて渡す時の奴の素振が如何にも私には疑に思はれました、此迄他人には氣づかれずに濟んだらしいが今度は所謂運の盡でもあつたのでしやうかな、さう思つて見ると猶不思議な事があります。奴め私の件をして往つた馬丁に酒を飲ませて色々機嫌を取りながら私の往きつけた婦人の住所を、そこへ私が出懸ける時刻とを探ねさうです、偖はと感付いたから私は早速用意を致しました、用意と謂つても質は些細な事で、從前曲者に殺られた人の死樣を聞きますとどれもこれも心臟を一槍に貫かれてゐたさうです、之は畢竟曲者に一種の手練があつて最初の一太刀に心臟を剌すので初太刀が外れゝば後は五分五分の闘になりましやう、五分〳〵の闘になつてちやん〳〵ばら〳〵交戰ふ日になれば其處は慣ながら私は軍人で擊劍や柔道で年中苦勞してゐる身體です、勝は八分まで此方にある、さう思つて私は最初の一太刀を避ける爲にワイシャツの下に鐵の盔を一枚隱して往きました、實に不思議な程簡單な用意、此簡單な事に氣附かなかつた爲に何十と云ふ人間がむざむざ生命を落したのは寧ろ奇妙に思はれます、それは兎に角私はそれ丈の用意をして定の時刻に錺を持つて例の道筋を往きかゝると、暗闇から不意に飛出した男、背後から私を羽掻緊に抱緊めながら短刀逆手に、私の胸をぐさと刺しましたが、それは例の盔に中つてつるりと傍へ逸れて仕舞ふ、はつと驚いて曲者の手が緩む所を、私は素早く振解いて向直り、用意の短刀を突出すと對手は案外手容の無い奴で刃の尖を拂ふ間もなく胸を剌され其儘どつさり仆れました、それを見ると相棒でしやう、もう一人飛出して來た奴があつたが來て見ると案外仆れたのは私では無くて味方だつたので狼狽て仆れた奴を抱起して豎る、私はもう對手にならず其儘そこを摺脫けて歸りました」。

各種鑛物（分析依賴）金銀精製に應ず　新發見鑛區買入
京城旭町一丁目七　中村分析所　電話一壹一七番

婦人界特別號　婦人獨立號

◎四月號愈出づ◎
附錄　輕き疲れ　二頁大寫眞　美人畫
口繪　▼北白川宮妃殿下　▼京都御室の櫻花　▼冬物のしまひ方　▼日用品のバザー　▼春うらゝか　▼生花押し方　▼模範的遊戲所　▼伊勢廟にて
婦人自ら活きよ（湯原校長）
世の中に出て働く女（安井哲子）
婦人と心の獨立（元田編輯）
夫婦とも稼き（宮田校長）
◎女醫となりて十五年……篠田せい子　◎女店員の監督となりて……林樂子　◎私の希望は看護婦となつた時……大關ちか子　◎家庭教師をした經驗……江田稜子　石川千代子
米國の主婦の働きぶり（岸邊校長）
子供のお辨當に就ての注意（小林校長）
無くてならぬ家庭用具（小林萬藏）
男の中で働く女（小田幹事）
私の職業　◎文房具店を開いた私……蝶子　◎染物屋の女主人となりて……松子　◎一生を女教員で……尼子　◎感化院の教師となりて……雪子　◎先生に成るまでの徑路……英子　◎仕立物の內職をして……秋子　◎小學教師のほこり……咲子
◎私が教育家となつた動機（孝子・悅子）
◎音樂家としての私（久野久子）
◎五十年を琴曲に（町田杉勢）
◎偶然に志した產婆業（岩崎直子）
▼歌を詠む時の心持ち……窪田空穗　▼食用になる摘草もの……片山熊太郎　▼便利な副食物の作へ方……上村ちう子　▼氣のきいた皿數あみ方……いち子　▼我が鄕里の傳說……しづか　▼外國で逢つた車掌の妻……桑　▼新世帶の失敗いろ〳〵
▼泰西名著繪物語　▼子供に話すお伽噺
小說「不如歸」の實話　川島母堂と浪子の間　母さんはどんな人か　其の面目本號に躍如
◎蟲が起つた子供……（鷲尾博士）　◎獨りで結ぶ帶のしめかた……（遠藤波津）　◎婦人記者の生活（服部桂子・尾島菊子）　◎小說家としての私（吉村幸夫）　◎女で小賣店を開くには
◎活花の教師となりて……（尾崎恒子）
▼誘惑かと思つたら眞心……むくら　▼却つて怨しい人の深切……姫百合　▼病む患者の看護をして……野の花　▼美しい女中の心根……早百合　▼親から助けられて子を救ひ……千草　▼深切な嫂を持つた喜び……くら子
◎長篇小說　野菊　巖谷小波　小波先生の筆は號を重ぬるに從つて愈々絢爛事件の曲折益々妙境に入る
▼漫畫　御歸路の骨の走（浩一）　▼花見坊（對岳）　▼手輕なお惣菜ご獻立（木村模）
◎講談　押上の鶴（一龍齋貞山）
◎定價　本號二十五錢　稅二錢　半年一圓二十錢　一年二圓三十錢
東京京橋區南傳馬町一丁目　振替東京四千九百番　電話京橋……

大正七年　鑛區一覽
附錄　鑛業權出願書式　朝鮮鑛業史概要　鑛業之現狀
京城旭町一ノ七一　鮮滿工業社　電話三〇六　振替京城三四九七
大賣捌　京城本町二丁目　嚴松堂　電話二六六　振替京城二四五四
（定價金七拾錢、郵稅金六錢）

新聞學及文章講義　別科・最新速記術
今や新聞文章の勢力は政府及議會よりも強く文章の權威は天下を左右す。各私立大學の新聞科廢止せられ猶りて記者養成の機關なりせば本會の人は勿論紅葉、我孫子、大迷、尾崎、花等の文星悉く新聞界より飛躍せり本講義は文壇最高の權威也
新學期開講　新版に成りて堂々開講す　學問なくとも來れ
內容見本　無代呈す　請ふ先づハガキ一枚を投じ本會高等職業の案內者を見よ
大正四年本會創刊の舊講義錄の原版を破棄し茲に新版成れり右は實に各專門家三ケ年の實驗と苦心とを積み根本的に改善せり
全科十ケ月卒業
全部新版　紙數四千頁
新に文章法各科を增設し且つ最新式速記術を加ふ何れも世にありふれたるものと選を異にし至つて比類の快講義錄也
（評議員）法學博士 本多精一　東京朝日 杉村楚人冠　前代議士 竹越三叉　法學博士 田中穗積　東京毎夕 小野瀨不二人　慶應講師 馬場孤蝶　主幹兼編輯長 惠美東……
三百餘新聞社協贊　當代名家講述
東京有樂町一ノ三　大日本新聞學會

苗　桃　梨　桐
天津　上海　土用　外各種　三尺上十二圓　二尺上八圓　長十郎　早生赤　晩三吉　一尺上十二圓　一寸五分廻　十五圓
各種　千本付　定價表進呈
兵庫縣川邊郡平井　萬苗園　振替大阪八二一〇

自動昇降機付半俵搗より百俵搗迄各種製造
無砂　無水　動力掛　車掛　精米麥機
天下逸品トーア式人力精米麥機を發賣し多大の好評を博し今回更に動力掛精米麥機を完成し其紀念として永久貸附月賦割拂の御相談に應じ各地に特約店を設置す希望者は至急申込あれ詳細圖入說明書及案內送呈
大阪西區市岡町　製造元　東亞物產社

月刊　農蠶之研究
東京本所長崎町　農蠶研究社

講談の粹を揃へた四月號　娛樂世界
□浪花土產　出世證文（田邊南龍）　□怪傑　車丹波守（燕林）　□享保白浪　地藏の隱れ穢多殺　□實錄　多胡外記　□怪僧　上人（如燕）　□天正豪傑　大力才八（伯山）　□新講談　尾崎秀之助の決意（錦城齋典山）　□新作小說　子の罪
▲以上全部を一冊に收む　價廿八錢
淀屋辰五郎　落語　無筆の女房　落語　もど遲ひ　闇に浮く女の顏　一葉町　女としての歌扇歌　新日本珍聞集　當世女三人　長篇小說　呪ひの力　美い尼さんの群　耐會の底生活　落語　代り喇叭手　落語　不動坊
東京日本橋すきや町　娛樂世界社

株式會社　漢湖農工銀行
資本金壹百萬圓
京城
支店所在地　開城、春川、江景、公州、大田、淸州、忠州、論山、鐵原、鳥致院、洪城
低利貸出　普通銀行業務は確實親切に御取扱可申候

◎英軍對獨準備整ふ
獨軍一擧勝利を得んとす

獨軍の大攻勢は遂にカンブレーに於て開始されたるが是より先きヘーグ元帥は獨軍が屡々白耳義地方、ランス、シヤンペーヌ、ベルダンの諸戰に攻擊を開始し以て眞の目的を隱蔽し且つ英軍部隊を牽制せんと試みたりし企畫に欺瞞せらるゝ事無く廿一日敵がサンカンタン附近のスカルペ、オアズ兩河間の英軍右翼に向つて大攻勢を開始せる際充分是に對抗する準備を整へたり倫敦軍作戰の目的は英佛兩軍の聯絡點を突破しオアズ平原を急進して巴里に進み同時に佛軍の左翼を旋回して一擧勝利を得んとせるにありたるものゝ如し（倫敦電報）

◎獨軍攻勢失敗か
獨軍が西部戰線に於て大攻勢を執れるに對し倫敦にある軍事專門家は「獨軍の企畫は一時小部分の成効を得る事有るも遂に失敗に歸す可く且つ獨逸國内の形勢想像以上に險惡なる爲め其統治者階級が必死の冒險を決行せるものと推斷する外此徹頭徹尾無計算なる獨逸の行動は解釋し能はざるものなり」と述べたり（倫敦電報）

◎白熱的戰鬪
獨四十個師團擊退さる

二十一日の戰鬪は午前五時獨軍砲兵陣地よりの猛烈なる毒瓦斯砲撃に依りて開始され同七時には敵の步兵隊は塹壕を躍り出で、無數の輕重兩種の機關銃を以て前進を開始したり同九時より十時の交戰線は二十五哩に亙りて白熱的戰鬪に入り敵の密集せる突擊部隊は我銃火の目標となりて敵は多大の損害を被りたり次で午後に入るや戰鬪は漸次部分的となり各獨立せる陣地の爭奪戰となりしが此敵は或地點を除き悉く擊退されたり此攻擊に於て獨兵は四十個師團參加し多數の砲兵隊是れを援助せり敵の應援部隊は續々到着し更に激烈なる戰鬪豫期せられつゝあり（倫敦電報）

◎英軍陣地に退却
二十三日朝ヘーグ元帥發公報に曰く全戰線に亙る激戰は二十二日深更まで繼續せり敵は强力なる砲兵と無數の步兵を以て强襲を行ひ廿二日午後遂にサンカンタン西方にて我が防禦線を突破せり我軍は秩序整然更らに堅固なる防備陣地に向け退却中なり我軍は敵の增援部隊に對し猛烈なる戰鬪を繼續せり（倫敦電報）

◎英軍逆襲敵擊攘
廿一日午後七時英軍は敵の占領せる軍略上の重要地點たるドアグニエの陣地に對し步兵及び戰車を以て猛烈なる逆襲を行ひ敵を一掃せり（倫敦電報）

獨逸東漸と極東
▲兇暴なる過激派兵
ブ市在留邦人等憤慨す

二回の慘憺なる市街戰の後過激派の掌中に歸したるブラゴエチエンスク市は依然無秩序の狀にあり哥薩克地方銀行より千八百萬留の現金を對岸の黑河に輸送し近く是れを哈爾賓に運び來る可しと猶過般の市街戰に於て殺害せられたる日本人の内最も悲慘なりしは府内某にして重傷を負ひつゝ自宅の表口迄逃り著きて打倒れたるが其子三名は殘酷にも無情殘忍なる過激派兵士の爲め銃劍を以て散々に突き苛まれて即死し是れを見たる妻女は狂亂の態にて我れと我が咽喉を掻き破りて即死し悽慘面を向く可らず遂に一家は全滅せるが是れを傳へ聞きたる在留邦人等は過激派の兇暴に切齒し居れり（哈爾賓特電）

▲千五百萬留携帶
烏蘇里哥薩克兵指揮官ガモフはブラゴエチエンスクより支那領土内に遁れたり同人は哥薩克の所有金千五百萬留を携へ居れるが此金子は支那官憲の援助を受け哈爾賓に送達さる可し（哈爾賓特電）

▲ブ將軍司令官任命
プレスコフ將軍は西伯利鐵道沿線地帶の駐屯露軍司令官に任せられたり又セミヨノフ大尉の部隊を援助しつゝあり（哈爾賓特電）

支那の形勢
▲段總理就任經緯
張倪兩督軍の强硬談判

馮總統は元來段祺瑞氏の出廬を欲せず而も四圍の形勢變化し來れるにも不拘二十二日夜迄は依然決する處なく二十三日午前に至り張作霖、倪士冲の兩督軍聯盟にて馮總統に對し若し本日の國務院會議に於て段祺瑞氏の總理たることを決定せざる時は二十三日夜中に郎坊の奉天軍を北京城内に入らしむ可しとの激烈なる電報を發したる爲め急遽各國務員を集め段氏を總理に推すことに決し其旨を通告せるに段氏は是れを承諾し午後五時大總統令を印刷局に廻附し茲に段氏の就任を見るに至りたるなりと（北京特電）

▲岳州の戰鬪中止
岳州の南北戰鬪は一先づ中止し兩軍は當分進出せざる事を申合せ目下岳州市街に南北兩軍駐營對峙し居れり（上海特電）

◎彈藥貨車の爆發
白耳義モンス附近メヴリンジース停車場にて彈藥貨車五百臺爆發し獨兵三十名即死し負傷者百名を出せり（アムステルダム電報）

◎米國和蘭船押收
米國大統領は布告を發し目下米國諸港にある和蘭船の押收を命じたり（華盛頓電報）

第四十回帝國議會（東京特電）
貴族院（廿五日）
▲本會議
廿五日午前十時開議、諸般の報告あり日程に入り地租變更免租年期に關する法律案 委員長仁尾惟茂氏より原案可決の報告あり可決確定 有價證券割賦販賣業法案 稻垣委員長より報告の通り原案可決確定 狩獵法改正法律案 委員長青山幸宜子より報告通り原案可決確定 臺灣銀行法中改正法律案 委員長正親町實正伯原案可決の報告あり可決確定 海軍に於て海軍採炭所の石炭の買入れに關する法律案 委員長柳原義光伯原案可決の報告あり讀會省略可決確定 東京市區改正條令中改正法律案 京都市又は大阪市の市區改正に關し東京市區改正條令及び東京市區改正土地建物處分規則を準用し得る法律案 委員長花山院親家侯兩案を一括して原案可決の報告あり可決確定 大正四年度歲入歲出總豫算 大正四年度各特別歲入歲出決算 報告並に決算案（三件） 決算委員長德川慶久公登壇、委員會は一回總會を開き直に分會に移し審議の上更に總會を開き不當決[illegible]三件を得猶政府の措置穩當を缺くと認めたるもの六件、政府に對し將來の注意を促す可きものと認むる件二十一件ありたりと其件名を指摘し決議案を朗讀す

決議案

貴族院は製鐵所に於て其所有汽船汐首丸を日本郵船株式會社に、惠山丸取び影島丸を松昌洋行に保管を委託し是れが使用に對し賃附料を協定する事其宜しきを得ず、國庫に巨額の損失を來したるは不當の措置なりと議決す（其他二件美術學校の收入及び支出に關するもの案文略す）

斯くて最後に決算に對し兩院が同一の不當決議を爲す場合、案の提出時期等に就き希望を述べ降壇、山脇玄氏法規の解釋に於て政府と貴衆兩院が意見を異にする場合即ち不當決議を爲す時は政府は如何にするや 勝田藏相 明かに法律上に違反したる事實明白なる事項には院議に服從す可しと雖も法合に違反せざる場合は其所信を固執すと答へ委員長報告通り異議なく可決確定 軍政法中改正法律案 委員長服部一三氏報告通可決確定 神社祭祀に關する建議案 谷森眞男氏提出者として提案理由を說明あり、山脇玄氏と後藤内相との間に神社奉祀に關する問答あり正午散會せり

◎時局は愈々重大
局面の轉變と支那の幣制改革
朝鮮ホテルに於ける歡迎會の席上にて
阪谷芳郎男の講演概要

（前略）予の今回の支那行は京城から北京に入つて姑らく滯留し更に漢口上海に南下約三ケ月間で歸朝の豫定であります、唯今國分長官より予が

▲支那財政顧問 として同國幣制改革に從つたら……との話しも出たが今の所何等確定した事はありません、唯支那幣制改革の必要を云ふ事は何人も認めてゐる、同國の紊亂せる幣制を此儘に放置して置いては支那將來のため寒心に堪へぬと云ふ事は何人にも異存はない、金本位が利益であるとか又銀本位を可とするとか所論は區々だが[illegible]かせねばならぬと衆論は一致してゐる、唯如何にして幣制改革を實行するかゞ大問題である、予は明治二十一年頃から支那の幣制改革に就ては研究して來た、又支那政府並に有力な人々より意見の開陳を求められた事も少なくない、その都度予は卑見を披瀝して來たが、昨年の夏頃より

▲支那政府 から北京に來て吳れぬかと云ふ交渉を屡々受けたが、然し支那の政局は御承知の如く少しく安定を缺いでゐて其混亂せる中、行つた所で何の施す事も出來まいと信ぜられたので予は容易に尻を上げなかつた、然るに昨冬林公使が歸朝し予に對する支那政府の傳言を齎らされたので餘り辭するも禮に非ずと考へ今回愈々支那漫遊と云ふ名目の下に北京行きを思ひ立つた次第であります予は永らく財務の事に從ひ來より先達の驥尾に附して日本の幣制整理の任を帶ぶ當局として日本の幣制改革の事を行ひ又臺灣にもやる幣制改革にも其の事に參與してゐる、然し朝鮮の幣制改革にもトコも同じやうだが此の幣制改革の事たる幣制のみの改革では其の功果は擧らない、乃ち豫算の歲入出に均衡を保たせ税制の整理をやらなくては其の理想的の結果は見られないのである、然も支那今日の狀態を概觀するに南北は相爭ひ

▲各省督軍 は其の任地に蟠踞して中央政府の威令は殆んど行はれぬと云ふ狀態にある、又中央銀行たる中國交通兩銀行の信用も非常に動搖し、其の發行紙幣は打歩をせねば兌換が出來ないと云ふ有樣である、そこに予の如き微力の者が赴いて果して幣制改革の如き大問題を遂行する事に力を添へ得るや否やは甚だ心許ない次第である、で予はまだ顧問たるべく決意をしてゐない、北京に行つて路を歷訪し予の懷抱せる支那幣制改革に關する意見を縷陳して而してそれが支那政府の容るゝ所となれば或は微力を傾むくる事となるかも知れぬが、實狀前述の如し今日予に財務顧問として何等の期待を諸君が有たれてもそれは何等の結果を齎らさぬかも知れぬ、で予に對する期待は之れを未來に繰延べて頂きたいのである更に又

▲支那幣制 改革に對する卑見の如きは再會の時に譲つて欲しい、唯刻下の時局は非常に重大となつた、露獨單獨講和は時局を急轉直下さした、從來日本は海に日英同盟に日露協商あり之れ帝國外交の機軸をなしてゐたが、此機軸は露獨講和によつて打破られた形となつてゐる、又支那に對する日本國民の考へも從來陸の日露提携があつたため事痛切でなかつた、然も現狀では敵國の勢力は支那の北邊に迫ると云ふ事になつてゐる、日本國民の對支意見は予の東京出發前後より急激に變つて來てゐる、萬一不幸にして日本が支那と共に協商側の聯邦として共に兵を西伯利亞方面に動かさなくてはならぬやうな重大な事態に立到るとすれば日本と支那とは何等か政治的の提携をなす必要を生じ軍事上の協調をなさねばならぬだらうと愚考する、實に重大な變化である、從つて日本の

▲對支意見 も從來の遲緩…少なくも駈足的でなかつた態度を急足なものとせねばならなくなつた、南北妥協の如き今日までは妥協して欲しい位に過ぎなかつたが現今では妥協して貰はねばならぬと云ふ樣に進んで來てゐる、これは日本の考へのみでなく支那も同樣ではないか最近に於ける段祺瑞氏の內閣組織の曲折を詳らかにせぬが其の詳細の如き予は旅中で時局重大を顧慮し堅固な內閣を組織せざるを得ざるに至つたのではないか、南方の名士唐紹儀氏の東京入りの如き無意味ではあるまい然し乍ら萬一時局が急轉し日支協同の行動を執る必要を生じた場合最も必要なのは金である、今日此の金で支那を援助し得る國は英米佛が戰爭に國力を傾倒せる際日本を措いて他にないのであるが、それには前提として支那財政の整理を必要とするのである、之等の

▲國家の大事 は支那幣制改革問題の解決を良好ならしむのではないかとも思はれる、さは云へ事實が如何に推移するかは茲に係言も出來ないのを察せられたい、獨逸勢力の東漸により日本の立場は非常に困難であるが此際在任の有力なる諸君一緒に邦家のため自愛して健康の維持に留意されん事を望んで止まぬ次第である

◎阪谷男歡迎會
入京中なる阪谷芳郎男一行の歡迎會は二十五日午後七時より朝鮮ホテルに開會されたり定刻デザートコースに入るや國分司法部長官は主人側を代表して男爵歡迎の辭と若し世人の期待せる如く男が支那最高の財政顧問に就任され支那の幣制改革に專ら力を注がるゝ事とならばそは獨り支那のためのみならず世界經濟界の爲め慶賀すべき事たり唯支那の幣制改革の事たる其の實行上非常の險難なり到底凡庸の器の此事に當るも進捗し得ず全く動きのとれぬ事となるべきも男爵の學識經驗人格德望を以てすれば必らず其の成功を見得べく吾等は一同とともに其の成功の期の近からん事を待望すと述べ男の健康を祝して座に復るや直ちに男爵は起つて一場の謝演（別項參照）をなし主客歡談裡に十時近く散會せしが來會者は渡邊法院長國分宇佐美小原持地各長官大田鮮銀久保滿鐵兩理事を初め京龍仁官民の主なる人々約百名に上り盛會なりき

◎阪谷男一行出發
二十五日朝入京朝鮮ホテルに投宿せる阪谷芳郎男一行は二十六日午前九時南大門出發北京に直行す

◎獨墺尚は進擊
各方面殆ど無抵抗

[illegible]附近レベドンフキヤに於て兩軍戰鬪中なりとの報ありロモダン正面クレヌンチユーフ、ヅナメンカ等はヒコポリに向ひ獨軍中なり右の外ウクライナ別動隊ハリコフ、エカテリノフカ等[illegible]世界地方に[illegible]の所報に依れば豫てより不穩の態度にありたるバルネヒスタン内の[illegible]族は最近に至り[illegible]へりとの報告あり最も彼等は多大の損害を受け擊退せられたるが依然同族に加擔せる形跡あり[illegible]

◎中旬對外貿易
出超八百八十萬

[illegible]に八百七十七萬六千圓の輸出超過を示せるが之を前旬に比すれば輸出は千八百八十五萬五千圓輸入は千九百十六萬五千圓を孰れも增加せり之を前年同期に比すれば輸出は六千七百十四萬八千圓輸入は一億四千二千萬一千圓を孰れも增加[illegible]

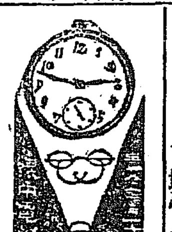
◎衛戍病院出火
京城衛戍病院にては二十二日午後七時五十分出火し同八時五分[illegible]

新滋養劑レグモン
母乳分泌催進の効あり
京都醫科大學教授森島博士より有効滋養劑として推奨せられ又山下、林、恆次、吉澤の四醫學士は多數の衰弱したる患者に用ひて甚だ有効なる滋養劑たる事を證せられたり
（容器）百瓦入 金壹圓貳拾錢 二百五拾瓦入 金貳圓貳拾錢 四百五拾瓦入 金四圓五拾錢
一手販賣元 大阪市東區道修町 武田長兵衛

胃つぎ治療
明治町ふらんす敎會前
荒川仁壽堂 電話二五九五番

一、車輪用材 品あり
一、鮮松丸太並に 樫枋欅輪形ロクロ各種
建築材料一式
京城岡崎町 九三幸洋行
電話長二八〇〇番 振替京城三一九五番

◎營業品
一、日本杉足場丸太 三間以上六間以下各種現在品多數有之候
一、杉皮 各沿線に於て御入用の方は釜山驛店渡し又は御指定の驛まで何時にても發送可仕候
土居葺用として至極便利
御座候數萬坪在庫品あり



京城本町二丁目 川合時計店
電話二九一八 振替京城一二一九

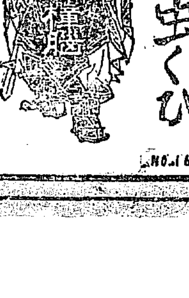
電信修技生募集
當局電信修技生十五名ヲ朝鮮人ヨリ募集ス
詳細事項ハ當局從事員教習所ニ就キ承合スヘシ
大正七年三月廿三日
南滿洲鐵道株式會社 京城管理局

公告
上友俱樂部は大正七年三月二十三日臨時總會にて解散を決議せり依て債權を有せらるゝ者は大正七年四月五日迄に清算人に其旨御申出相成度然らざる時は清算より除斥せらるべし
大正七年三月二十五日
清算人 志岐信太郎
同 荒井初太郎
同 熊城鍾三郎
同 津田辰次郎
同 後藤虎雄

時計及蓄音器卸商
開業創立明治二十八年
TRADE MARK K
京城黃金町二丁目 喜多金光堂
電話一〇一五 振替京城七八二

虫くひ に キツ 忘れてならぬ
各地藥店にあり

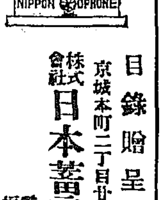
移轉廣告
緊工場儀茲に十數年來本町二丁目に於て營業致し居候處時代の趨勢と社會の進歩とに伴ひ更に擴張發展の必要を感じ今般左記へ移轉し一層の努力を以て從業可仕候間何卒倍舊の御引立を垂れ給はん事を伏して希望仕候敬具
美術染物
營業科目 最新流行形染 印半纏天正藍染 印入風呂敷手拭 反物目引並染替 現代式器械ゆのし洗張 廣告用旗幟 毛物洋服 光澤色染 染色各種
五月幟調製
京城永樂町二丁目（研究會元平山牧場跡）
龜屋染工場
電話一五八五番地 振替京城四三八四番



目錄贈呈
京城本町二丁目廿九番地
株式會社 日本蓄音器商會
電話一、二八三番 振替京城六八四番

資本金壹千萬圓
頭取 安田善三郎
株式會社 百三十銀行京城支店
京城本町壹丁目
電話長五八番 總督府金庫 京城一九三四番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地有之候

郊外御散歩の好時期と相成候に付ては
東京すし、花見辨當 相始め申候
京城南山町 松園
電話一八五番



[illegible]報五の如し
ウクライナ方面敵は既にボログ[illegible]
を通過し十八日午後ハタコフ、ヂ
ヨウドウジヨースムンを占領し其

[illegible]オデッサ方面にてはニコライフ十七日を以て全く敵軍に歸し翌十八日過激派軍奪回を企てたるも成功せず其後ヘルソン亦敵手に落ち獨墺軍[illegible]

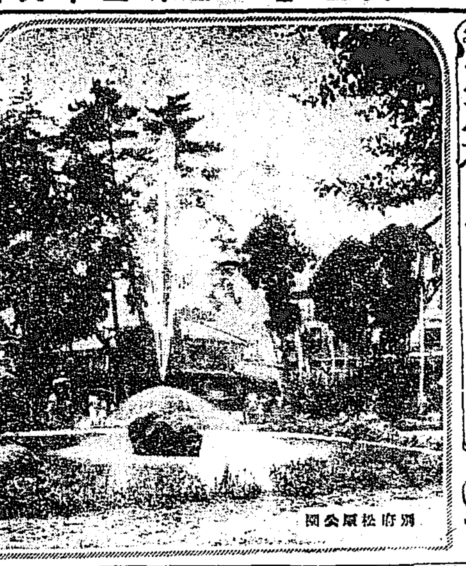
印度邊境暴動

[illegible]二十日東京電報　印度邊境不穩に關する三月十八日デリー『プレッス、コンミユニチー』[illegible]其他同族徒は附近の官有財産を[illegible]壞し且つ部隊を編成しグンバオ十及びホルトモンローの守備隊を襲[illegible]損害を蒙りつゝあり最近三回政廳飛行隊は同族の集合所に對し有効なる攻撃を行ひたり尚ケトランは

三月中旬に於ける對外貿易は輸出五千五百四十四萬二千圓輸入四千六百六十六萬六千圓にして久方振[illegible]に因り二割七分を増加し輸入は智利硝石及び羊毛等に於て減少せるも鑛類の輸入多きに因り四分を三千三百五十五萬九千圓輸入三億三千三百六十八萬四千圓にして輸入超過額は十二萬五千圓に減少せ[illegible]輸入五千[illegible]圓にしと一月以降の輸入超過七十七萬二千圓となれり（東京）

（カルカツタ發二十日某所電報東京）[illegible]失場所は[illegible]病院內管理室附屬建物及び小使室にして醫療料若干を燒失せり

九州視察團寫真帖　七


別府松原公園

九州視察團の快擧（七）

◆時は陽春四月―花實併有

◆日鮮縉紳諸彦の賛加を俟つ

＝別府靈泉浴＝

別府溫泉は無比の稱ある海地獄より引用し各戸に供給して居る、秒速五尺の壓力にて新別府に奔下し來る、故に此靈泉を樓上の浴室にも噴出せしむる事が出來る、絶大の功能を有する同温泉は冬期極寒の時に於てすら猶は華氏百六十度を降らず、泉量豐富無限にして往古以來今日に至る迄些少の減退をも來さぬ。此遊覽的又療養地に九州視察團の一行は一たび福岡に於て分袂したる福岡、大分の兩縣人團を再度併合して旬日の九州廻遊各方面の視察、見學に心身の疲勞を復活し、一切の旅塵を洗ふ可く二十四日午後九時十分別府著、日名子、米倉、龜の井、若松屋、田の湯館、紅葉館、浪花館、萬屋、淡屋、不老園等一流十旅館に十名宛分宿、二晝夜に亘り悠々自適の靜養を試みる。

＝大分市視察＝

二十五日は午前十時別府發、大分市視察の途に上ぼる。數臺の借切電車の徐行に別府、大分間の海岸に沿ひ、宥山綠水を左右に展望しつゝ十一時大分終點著、直ちに市要所の視察を爲す。大分は犬飼鐵道の分岐點、九州水力電氣及び大湯鐵道の接續點、大分川の吐口、大分平野の北部に位置す、中世大友氏茲に居り武威九州北部に及び、維新前は大給氏の城市であつた。一行は視察を終りて午後零時半より大分市官民聯合歡迎會に列席の榮を得て後ち、午後三時迄に別府歸著。別府電車終點下車、夫れより一同馬車を驅つて湯廻りを爲す、鶴見山脈東に傾きて別府灣に盡くる所、廣さ數平方里の間、岸に、沙汀に、丘上に、溪間に行くとして温泉ならざるはなく、湯の池、湯の川、湯の瀑見るとして温泉ならざるなき奇觀は、團員諸君をして一驚を喫せしむるものがあらう。

＝一路平安＝

二十六日は午前中團員一同悠々自適、晝餐後午後一時四十七分別府發列車にて、全團歸鮮の程に上ぼり、午後五時門司著、六時下關驛前山陽ホテルに集合、同三十分より解散會を擧げ、相互の健康を祝し且つ祈りつゝ、八時より乘船開始規定の船室に入り、同九時三十分出帆、翌二十七日釜山著。南鮮團を解散し、同十時三十分發急行列車にて、行く〳〵湖南團と大田驛に分袂し、午後九時一路平安京城に歸著解散す。（此稿完結=準備委員白川記）

李王殿下御誕辰の

賀宴に春色增さる昌德宮裡

二十五日は李王殿下御誕辰第十五回の佳日なりき折柄細雨煙の如く降り濺ぎ麗かなる日の光は仰ぐに由なかりしも樹立深き昌德宮裡

❀歡喜の色 に輝きて春の氣漂ふ、此日李王殿下には正午十二時より仁政殿に成られ御親戚各公族殿下、朝鮮貴族、李王職高等官一同の參賀を受けられたるが次いで十二時三十分より之等參賀の

❀貴顯高官 を御招待午餐を共にせられたり一年一度の目出度き祝ひ日とて珍味佳肴山の如く王殿下には絶えず微笑を湛へられ樣々の御物語りあり午後二時より妃殿下御同列馬車を驅つて

❀德壽宮へ 參向父王殿下に御面謁の上四時還宮相成りたるが七時より更に御親戚各公族殿下朝鮮貴族、李王職各高等官及び各夫人等を御招待、松旭齋天一の奇術に打ち興じ給ひしと申す

新刊書は全く無い

四十留の書籍が五百留に暴騰

莫斯科より歸れる　片山天弦氏の談

❀莫斯科❀ 露都と同樣食料品の缺乏で市民は大苦しみ

莫斯科にて病の爲め居殘れりとの報ありし天弦片上伸氏は二十五日朝入京横井氏夫人（露國人）及び同氏令孃二人を同伴し朝鮮ホテルへ投宿せるが語りて曰く『私は一月頃から病氣に罹つて莫斯科一流の大醫の診察を受けた處盲腸炎で切開しなければならぬと云ふ話であつたが幸にそれは誤診であつて急性加答兒であつた

▽莫斯科を出發 したのは三月二日で引揚邦人は全部で三十七人、大抵商人で哈爾賓には廿二日に到著した、莫斯科の現狀はペトログラードよりは何分ましであるとの事であるが黑パン、砂糖其他物資の缺乏に從て價格の騰貴には苦しんだ、市中は過激派兵が勢力を得て無法な事も行はれて居るが又市內の秩序維持にも努めて居る現に彼の過激派戰死者の葬式が行はれた時も過激派が之に妨害を加へ衝突が起りはせぬかと氣遣つたが

▽却て護衛の任 に衝つて多數の人出の取締をした事もあり出發の一箇月前には莫斯科でも寺院が財産を沒收された事を怨み宗敎的示威運動を試みた際も過激派軍は『彼等は今日迄宗敎家として正に行ふ可きの道を怠つてゐたではないか、帝に不正な行爲があつても之を擁護する事をのみ考へ人民の味方となる事を忘れてゐたではないか今に到つて兎や角騷いだとて何になる宜しく市民は斯かる示威運動に參加する事を止めよ』と書いた貼札を市中に掲げた勿論兩者の是非は私は知らぬ。學校は閉鎖して居るが生徒は

▽非常な減少で 文科で普通百人の學生も男女合して二十人位に減つた、元來莫斯科帝國大學の敎授は敎授會の選擧に依つて職に就いたものであつたのを文部大臣に一時任命權を奪はれ硬骨の敎授は去つて市立國民大學等で講義を開いて此所には男女老幼職業を問はず有ゆる社會階級の者が講義を聞くと云ふ風であつた然し其後再び敎授會が任命權を得る樣になつて敎授も舊位置に復する樣になつた、私は露西亞文學の研究をする考へであつたが帝國大學には近代文學の先生が無く十六七世紀頃の古い文學の講義をして居たが耳を聊らす爲めに聽講してゐた

▽國民大學には 現時近代文學のオーソリチーと云はれて居るサクーリン氏の講義も聞き又直接宅に行て敎を受けたりした書籍の缺乏は又非常なもので新刊書は皆無でトルストイ全集が四十留したものが五百留もするツルゲーネフにも相當の困難があつた、圖書館や博物館は閉館してゐるけれど有名なトレチヤコフスキーの畫は全く見せない』

水戸大火

二十五日午前十時水戸瓦斯會社油槽附近民家より出火し同十一時迄に早や五百戸を燒盡し上市の中樞は全滅の見込にて今猶鎭火せず（東京特電）

大豆船の沈沒

黃海道延白郡龍道面石灘浦李春根所有帆船（百二十石積み）に李達元外三名が大豆二百四十叺（千七百三十圓）を積み仁川に向け航行中同郡玄岩里の沖合にて潮流の爲め船體を岩角に打つ附けられて破損し遂に浸水して沈沒せり急報により里民出動し乘組員を救助したる上積荷幾分は引揚げしが船體の損害五百三十圓なりと

水から見た京城

◆春の水は美しいが危險だ

污染の尠ないのは矢張高臺

京城市街と水との關係に就て調査せるに水道課の某技師は其の市街交通の發達とは非常に密接なる關係を有することを認めたり

先づ京城の井水に就て其水質を調査せるに明治二十年始めて內地人戸數六十五戸の時に掘穿した最初の共同井戸（現今本町二丁目晉中口吳服店前）と明治三十六年に出來た

▲南山水道 と明治四十年に出來た現今の京城水道とを比較して見るとその水質が非常に異つて居る

明治二十年	井水中細分	百七十四分
同三十六年	南山水道中細分	四十分
大正六年	京城水道中細分	四分

斯くの如く飲料水々質の改善の跡は恰も文化と歩調を一にして居る更に京城市內各所の水質を東西南北中の五部に分ちて調査して見ると最も井水々質の汚染甚しいのは京城の中部で次に西部北部南部東部になつて居るそして更に內地人街の

▲汚染程度 の最も甚しからざるものより記せば大和町、南山町、旭町、本町、永樂町、新町、櫻井町、南大門通、明治町、若草町

即ち大和町南山町旭町などは高臺で下水の排泄充分なると人家疎にして汚染少なきも若草町明治町大門通櫻井町は最も汚染甚しいのは低地の上に密を鮮人部落の人家密集地であつたからである、獨り永樂町の良好なるは舊官衙病院兵營所在地なると高臺であつたからであらうと思はれる斯くの如き汚染土地は

▲傳染病の 流行も定て他の地に比して多いことゝ思はれる更に京城の下水その主とする淸溪川と云ふ市街の中央を東に流れる大下水の水質を大正元年とその後三年を經た大正四年とに比べて更に之を三年後の本年調査せんとしつゝある成績に

▲比較して 見ると次の樣なことを云ひ得る

一、京城の下水々質は三年間に約倍加してある

これは即ち下水溝完成の爲めに地下に滲透して居たもので地上に集合して大下水に流入するやうになつたからである

二、京城の下水の中の窒分や固形物は水標橋附近に最も多かつたが近年それが滲透東に逞つて城壁附近が最も多くなつた。これは塵埃及び衛生掃除の關係で汚物がよく揚せられて市外に運搬され市外に近く近集の度を増したのである

三、京城下水中の細菌數はこれと反對に減つて三年前に比し中央部に多くなつた、この頃前は半衛附近が最も多かつたのに水標橋附近が多くなつた。これは即ち生活の繁盛なる證據で市民の生活が緻密になつて日常使用する洗濯又は臺所の流し水その他汚物に起因する結果の表徵であるやうに思はれる

この不潔な下水が年々その水量を增しその汚染程度を漸次東漸せしめるのは完く

▲衞生設備 や施設改善の結果であると思はれる下水が汚染することが深ければ益々その衞生設備は改善せられたものとして喜ばなければならない處が玆に一大注意を要することはこの京城の大下水は仁川龍山兩水道の源水中に注入することである然し憂ふるを止めよ幸にして

▲天の配劑 は極めて巧妙に出來て居ることこの不潔極まる香膽來又運の發達と共に汚染しなければならない京城の下水は東へ東へと流れて淸涼里の鐵橋下を東に流れ南へ廻りて漢江に入るまで數里の間に河水の所謂自淨作用と云ふものに依つて淸潔になるこれは水が日光の直射光線を受けて水中の酸分を分解したり細菌を死滅せしめたり又は動搖の爲に或は空中の

▲酸素の爲 めに酸化せられたり分解せられたり沈澱したりしてこのさしもの下水が漢江に入るときは細菌數は九十幾パーセントを減じその他の成分は十分の一にも達しない位に淸淨になつて居るこれが大量の漢江に合するそして水道には濾過裝置の完全なものがあるから少しも案ずるに足りない然し春季の河水も井水も一醫春季の水は泥してよくないのであるそれは解氷と同時に氷上の細菌や汚物は一時に流下されて來るか汲入して來るからであるだから水はいくら美しくても春季の水は生まで飮まぬ方がよろしい（總督府京城技手談）

不敵の女賊

ピストルお千代

逮捕　前科五犯の曲者

東京本所區德右衛門町生れ前科五犯の拳銃お千代事星千代（三）は出獄後間もなき本年三月十日京城黃金町二丁目吉村ない方家人の隙に洗張物三反（五圓八十錢）を窃み僞名入質せること發覺本町警察署の手に逮捕され又も檢事局送りとなる

稅關構內で藥品より發火

其筋より注意

鐵道運帶運送便にて大阪より京城本町一丁目山岸藥店に到送し來れる藥品を本月十四日京城稅關出張所構內にて取扱ひ中包裝しある三十錢入の木箱が燃え居るを發見したり取調べの結果件の藥品は

▲酸素發生 吸入器用の『アウジン』にして濕氣を持ちて自然に發火するに至つたるものの如く幸に發見早かりし爲め爆發するに至らざりしが其の從アウジンと同質なるアスロンを其の筋の手にて試驗せしがアスロンに水を注げば瓦斯發生し夫に對し更に點火して

▲水を注ぎし に爆發して盛んに燃燒するに至れり然るに前記の藥品は從來別に危險物として取扱ふことなく包裝等も充分ならざりしが這回試驗して結果危險なるを確かめたるを以て官憲にては爾後アウジン及びアスロンを取扱ふ際は

▲其の包裝 を嚴重にすることと、危險物たるの印を附すること小包郵便として取扱はざること、外部より濕氣を吸入せぬ樣にすること等に就き注意する所あり京城の同業者に對しては新井組長より其の旨各營業者に示達せり

躍り出でた二人の曲者物をも言はず

通行中の內地人を毆り飛ばして百六十圓强奪

京畿道楊州郡柴蔭面議政府居住鍮物商星野力（五〇）は十六日午後六時半頃抱川郡蘇屹面松隅里市場柳天一外一名より貸付けたる代金百六十圓を徵集して其の歸途自轉車にて柴面自題里を通行中怪しき二名の朝鮮人に邂逅したる際件の二名は物をも言はず星野を自轉車より引摺り下したるより星野は一人の曲者を相手に大格鬪をなしたるも逐に敵せず一名の賊は石を以て同人の前頭部を亂打したるより星野は多量の出血ありて昏倒し一二時人事不省に陷りたり其の隙に賊は前記の百六十圓を强奪して逃亡せり星野は程經て辛くも正氣づき通行人に救助されしが治療二週間以上を要すべしと犯人は目下嚴探中

◎寶生流素謠會 淡部師の鳳聲會は十四日午前九時半より南・倉町各本にて第三十九回例會を開催し今回京へ居住の山田態固氏の爲めに送別を兼ね有志の會合を催し出席者三十餘名素謠、囃子、晩餐後は各自の獨吟等ありて盛會なりし番組次の如し

▲鞍馬天狗シテ土田氏ワキ篠原氏牛若高見氏▲花筐シテ渡部氏ワキ上田夫人ツレ日野夫人▲雲雀山シテ遠藤氏ワキ兒島氏トモ長谷川氏ツレ寺田氏西田氏▲唐船シテ山田氏ワキ栗川氏唐子西田氏日子上村氏▲山姥シテ島田氏ワキ相橋氏ツレ尾石氏▲藤戸シテ鳴田氏（傳世）ワキ加藤氏▲隅田川シテ岡本氏ワキ渡部氏子木村氏男日野氏▲羽衣シテ足立氏ワキ吉岡氏市朗者

春の化粧　その四

有難きお言葉を賜つた

御用品

レート白粉

晴の化粧

某伯爵家姫樣の御輿入は十七荷のお荷物で美々しい事現代の粹を盡して御座いました。そして當日晴れのお化粧はレート白粉で目も醒める程美くしう厶いました

◇一生の大事◇

春は自然の花が咲く時です。結婚は女の花の咲く時です。一生の大事、晴れの世界。明るく美くしくなくてはなりません。然し花は培かはれて美くしい花が咲きます。女も、平素の嗜みが深くあつてこそ、晴れの世界に美くしい花が咲くので厶います。平常のお身嗜み『御家庭化粧料の御撰擇』これが晴れのお化粧が要素たる第一義で厶います。

◇家庭の化粧◇

さて御家庭のお化粧に御勸め申上げたいのはレート白粉で厶います。今日のお化粧は自然で美くしくしなければなりません。只白くつくばかりなら、どんな粗惡な白粉でも美事に附きますが、それには品が厶いません。下品なお化粧は却つて美を損ねます。レート白粉は他の白粉と違つて地肌から美くしくして行く成分を持つて居る上に白さに自然の艶があつて人格を高めます。

◇眞の化粧美◇

で、眞の化粧美は、この品格を高める處にあるので厶いますから、平常御家庭でレート白粉をお使ひになつて居れば、自然と品が備はり、婦人の微容が整へられます。何故ならレート白粉の附り具合は、態とらしくなく、如何にも爽床しく上品で、一日經つて居ても色もクスまず、化粧崩れも致しませんから、いつでも整然とした、容姿を保つて居る事が出來ますからで厶います。

◇新家庭の誇◇

衛生と美容とを兼ね備へたレート白粉は全く新しい家庭の誇で厶います。晴れのお化粧にはクレームレートを下地にしてレート白粉をお附けになつた美くしさ。平常のお化粧に、レート水白粉をお附けになつて居る涼々しさ。そして、手輕に美くしうして居られるクレームレートを下地にしたレート粉白粉の粉刷き化粧。いづれも、充分滿足に婦人美の化粧美を發揮致します。

レート化粧料本舖　東京　平尾贊平

櫻御殿

第百八十三回 大阪殿の家主人

座敷牢(二十二)

「もう今夜の命はあるまい、斯うして餓池の中に死ねるも、前の世の因縁であらう、只一目お母さまに逢ひたいが、それは願うてならぬ事、切ては武士らしう尋常な臨終が取りたいものぢや」

清之丞は隅櫓の一間に坐つて、正則の居間の方を拜んだ

『大殿樣へ申し上げます、斯樣な御罰は受けましたが、わたくしの心に一點不忠の影ないは神々樣御照覽、百千年の後、冥途へのお成を待つて、具にお詫を申します」と幾度も繰り返し云ひ終つて、次には我家の方角を伏拜んだ

『お母樣へもこれからお暇乞ひ致します、長の間御苦勞を懸け奉つて、一時御厚恩を報し奉つたのでは無く、不忠不義の名を負うて空しく冥途へ旅立ちまする、不孝の罪科をお免し下さいませ、たとへ一命は召されましても、魂魄は現世に殘つて、御無事を守り奉ります」

『これもまた同じ言を繰り返す、外にはそぼ〳〵雨が降つて、雨垂の音が幽かに聞こゑる

『あゝ、此の音もこれが聞き收めぢや、このように饑餓が迫つては今日明日の間を出まい、少しでも息ある中に、大奥の黒雲を打ち拂つて、お家を泰山の安きに置き奉らうとしたが、その願ひも無駄さなつた、只氣にかゝるはお家の前途ぢや、櫻御殿の櫻の花が夕の嵐に散る如く、無慙に散り失せることはあるまいか、江戸將軍の鋭いお目に睨まれて、御家名を持ち續けたまふに、お殿樣はあまりお正直ぢや、昔は正直が家の礎になると聞いたに、今は却て家を危くする原となる、あはれ殿樣、あはれ若殿樣、お奥にお氣をお付けなされませ、忠義の武士、いかにお城の御門を守つても、お奥から崩いてはお城の柱を守ることが爲りませぬ」

清之丞は心の中に思ひつゞける此のときそよ吹く風に傳つて、酒の香がぷんとする、それが鼻から傳はつて、腸の底へ滲み入る、清之丞は幽かに殘る命の綱をその方へ引張られるように思つて

『番卒が酒を飲んで居ると見ゑた斯うした淋しい夜に、人氣もない隅櫓の入口に宿直しては、酒の氣でも借りずばなるまい、關ケ原の御陣では、幾十萬の大軍を物ともせず戰ひ、小山の御陣から伏見へお使ひをしたときは、敵の陣地を思ふさまに潜り拔けた、さほどの勇士が、一ぱいの酒の香に引かれて、心の緒を亂さうとする、あはれ、人間もこれほど淺ましくなるものか、これほど食ひ物に心を奪られるものか、死を覺悟した身にも、酒の香が骨に滲みる、あはれ〳〵、松尾清之丞と呼ばれる武士が、生きながら餓鬼道に落ちるのか」

苛を切つて堪へるほど、酒の香がます〳〵高く芳々と襲つて來た

斯うなると日頃の修行も何の甲斐がない、眠りの足ぬ目のさきへ燈火をさし付けられたより、餓の迫つた鼻さきへ好い酒の香がさし付けられた苦しさはまだ深い

『いつそ窓から手を出して、只の一ぱいを所望せうか、假し所望したりとても、協へらるべき願ひでない、餓鬼道の苦しみはこれである、われに何んの罪科あつて、生きながら斯うした痛苦を見ねばならぬか」

凹んだ目に涙をたゝへて、暗然と座をしめる耳許へ

『清之丞樣々々』と低い聲で呼ぶのが聞こえた、清之丞はハッとして思はずあたりを見廻したが闇を流したような黒い暗が、窓を鎖して、人の氣は微塵もなかつた

『あゝ、心の迷ひであつた、疲れから迷ひが出る、武士も斯うなつては意氣地がない』

斯う思つて目を閉した

□春光扁　秀雄

冬なれどこゝな氷の下にしてのびたらひたろ芹は萌しも

芹つむとはろ〳〵來る田のくろにあまた鳥のむれさわぐ見ゆ

あぜみちを靡れさうたひつゝ行きゆくさころみな芹畑

ふたゝびは還ふべからざる君なりと芹田のくろにたゝずみにけり

しかすがに獨となればものたらず今日もたゝずむ芹田のくろに

不案

しみ〳〵と見いりてあるに牛もまた大き眼をして吾を見たりけり

春の日の酔ふばかりなる日溜の牛の瞳のひたしき光り

するゝ〳〵と背な撫でやるにやうやくに牛はまなこをしばたゝくのみ

つながれしまゝに終日つながるゝ牛は悲しきものにてあるかも

牛の瞳見つめてゐしにもろ〳〵の生れざりしなましさ思へり

◉湖南吟社句集

課題 芹 春風 春の海　大田七三一三於風香庵

水を出てわづかに芹の花咲けり　十亭
潮を來て風車を吹けり春の風　同
春の海島の鋒のもの〳〵し　同
水温きて鯉を躍ふ芹田かな　紫三女
畑に遊ぶ乳離牛や春の風　同
南蠻船を見に行く船や春の海　同
芹摘むや長良堤の渡小屋　中京
春の海打よせ貝の砂に照る　同
芹に似せて海岸の咲く岡隣哉　松
秋の蝶に雜餘て去りぬ春の風　同
畑と畑中の溜田の根白草　出
杭打の引網曳し春の風　月
果は日凹つる圓く春の海　波
春の海むた帆の船も來りけり　同
島嶼に梅ゐて寧くや春の海　不
潮溜寄せし島の波止場や春の海　同
水無しの外濠掘やいちけ芹　風
お宿子のおもはゆくよふや春の風　同
貝船なしてなす雑や春の海　骨
門が澄る海岸や春の海　同

讀者の領分

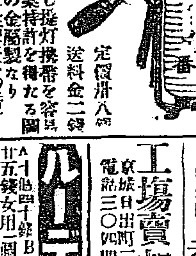
▲新町大吾樓の小奴といふのは客に對して乞食の樣なさもしい事をするがあんな風では娼寶繁昌も出來まいそこに行と第一樓や泉樓、一二三樓などの女はさつぱりしてゐて氣持が好い(際浪客)▲女中をなす可く渡鮮する十六歲頃より十九歲位の娘ありて割合に荒んだ當地の風に化して手に合ざる者あり彼等は甲の家乙の家に轉々するを怪まず行く先々にて盛んに其の家の惡口を言ひふらす等到らざるなく遂には自暴になつて怪しき小料理店等に出入する者あり女子は廢し離き者と云へばそれ迄なるも小さいながらも一の社會問題なり何んとか方法のなきものにや(岡末生)▲戀人よ假面を取れ君の爲に希望に充ちた前途をさへぎられた僕は其一人だ淸さにかへれ母樣のひざに抱かれてゐた赤んぼうの昔に、君の辿る道の前には毒蛇の住ひのあるを知れりや僕は幸にして今は淸き生涯に入る事の出來る身となつた罪人の君も早く淸きに(罪人より)

新刊紹介(到着順)

▲新家庭 三の四 額面用彩色畫及び論說數十種さ有益多趣味なる婦人必讀の快文字を滿載す(五十錢東京芝公園九玄文社)
▲婦女界 教育成功號 教育に關する大家の有益なる談話の外五婦人の我子の教育成功の經驗、其他種々の教育成功實例小栗風葉の「十人の卵」卷頭には謝崎英明筆三頁大の艷麗なる美人畫を添ふ(二十五錢東京牛込加賀町婦女界社)
▲少女畫報(四月號) 綺麗な口繪鮮明な寫眞而して面白くて有益な讀み物全く眼をさむるばかりに發し 市內各書店にあり
▲少女の友(四月號) 溫雅にして氣品あり優美にして趣味饒き好讀物(十五錢東京京橋實業之日本社)
▲駿尾崎行雄氏著立憲勤王論(後藤武夫著) 六十錢東京京橋三十間堀三日本魂社
▲俳句手帖 庄司勤文館編 運座のとき題を探り句を案ずるに便なり(二十五錢東京芝新堀町一九石尾姦文閣)
▲國語教育(新體本號) 三十五錢東京牛込白銀町二〇育英書院
▲滿蒙研究彙報(二ノ六) 一冊月三十錢京畿乃木町滿蒙研究會
▲市町村雜誌(二九二) 十三錢東京芝田村町六共社
▲朝鮮遞信協會雜誌(三) 十二錢京城光化門遞信局內共會

愈好評の經濟的事務用(金ペン付)
パインビジネスペン
定價 壹圓九拾五錢
京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

今回朝鮮總督府の御買上を蒙りたる
自轉車用 **提灯挿**



取締規則に適應し提灯携帶を容易ならしむべく新案特許を得たる圖の如く瓢形優美の金屬製なり
定價卅八錢 送料金二錢
京城太平通(電話三六〇番) 發賣元 京日代理部 振替京城三〇〇番
▲市內は電話にて申越次第御届可候

富の道しるべ 山縣五十雄 村上唯吉共著 價十五錢 郵税二錢
振替京城三〇〇番 京城太平通 京城日報社代理部

京日案内

▲普通五十錢前金 番外一圓前金(廣告一回分)
▲申込後中止の節は料金不返戻
▲六行以上の御申込は特に割引のこと
▲前金到着せざれば掲載せず
▲御廣告の番號に御聞合せの節は必ず番號を記入なさるべし

◎店員入用 十三歲より十八歲迄 京城本町二 松菊屋小間物店 575
電話讓物有 本社十六番へ
電話賣拂 二五一九番へ御話下されたし 御希望の方は至急 明治町二中央婦人病院前 有本 573
◎看護婦見習人至急募集 希望者は本人來談あれ但し市內確實なる保證人を要す 明治町一 町田新術部 516
看護婦及見習看護婦至急採用 希望者は直接來談あれ 京城旭町一 島崎病院 電二七三六 530
店員五名入用 十五六歲尋常高等卒業程度の者直接來談あれ 京城長谷川町 兒頭支店
番外 六十八回新債券 出賣 債券と御交換も致します 太平通一ノ一三 電二七九三 朝鮮産業社 578
◎事務員募集 但中學卒業せ採 二十歲以下の者鑛山事務員に 希望者は本人直接來談あれ 黃金町壹丁目 不二興業株式會社 577
店員入用 十六七歲位高等小學校卒業の者 希望者は本人直接來談あれ 吉野町一丁目(自働電話角) 中島竹次郎 貿易商 572
小供入用 十四歲以上十六歲迄男子當地需要保證入望の方履歷書携帶來店 京城 三越吳服店 庶務部
運送業に經驗あるもの數名入用 希望者は左記へ來談又は履歷書送れ 仁川 京城日報支局 571
◎記者入用 志願の者は履歷書携帶本人來談あれたし 京城黃金町 京城新聞社 570
土木技手及工夫募集 土木工事實地に經驗ある技手及工夫數名入用希望者は至急來談 黃金町一丁目 不二興業株式會社 570
◎有給外務員入用 希望者履歷書携帶來談あれ 黃金町二 京城新聞社 569
看護婦見習入用 希望者來談但市內に保證人を要す 京城本町壹丁目 石川醫院 567
店員及集金人入用 年齡廿歲より卅歲迄但要保證人 蓬萊町三丁目 電話二〇七九 酒見油店 557
◎ほねつぎ うちみ くじき 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場 412
工場賣却 煉瓦造二階建 四十坪餘 京城日出町三番地 電話三〇四番 入江 556
ルーデサック 而ば製 A十個四十錢B十個六十錢 模形廿五錢女用一個八十錢 七十五錢卅個以上一割引郵券代用 増製送料
りん病 急性慢性を問はず最新藥淋工發見の全治速なり七日分一圓 お用ひあれ 十四日分一圓九十錢本藥は他店になき直輸本舖に御注文あれ 京城黃金町三 振替京城三三七番 山田文殊堂藥舖

セル地と帶側特價提供

◎最上本セル 壹反 大特價 拾貳圓拾錢
◎特製本セル 壹反 大特價 九圓參拾錢
◎島田セル 壹反 大特價 七圓五拾錢
◎謝染印セル 壹反 特價 四圓五拾錢
◎本年式流行 紹朱子友染 帶側 壹本 大見切 貳圓六拾錢

右の品は當地某大問屋が營業税問題の爲め整理した大見切品で小賣相場から見れば實に突飛な値段今後如斯品は斷じて無し空前絶後さ値段は全く右の如きあらふれもん安くても流行後れの品にはあらず何れも本年流行の新柄の大特價で御座ります。
大阪市東區北久太郎町一丁目二五 吳服見切品御問屋 中島商店 電話東三五七七番

最新刊

書名	著者	定價
德川盛衰	公德	二、〇〇
向陵より社會へ	時田彌太郎	一、〇〇
千圓以下で出來る理想の住宅	保岡勝三	一、五〇
政界の表裏	無名隱士	一、六〇
戰後の教育	國民新聞社	九五
革命の巷より	クロパトキン	一、三〇
獨乙經濟的膨脹策		一、五〇
獨逸の肉彈	獨乙大尉ヘッケル	一、〇〇
紳士淑女の汎獨政策論	シェラダム	一、六〇
肉彈(縮刷)	櫻井大尉	七〇
西洋見物噺	末廣鐵腸	九〇
小生の手紙	大町桂月	一、三〇
會社商店に必要なる商法釋義		九五
潜航艇圖說		六五
最新實驗化學		一、五〇
經濟哲學の諸問題	左右田	一、二〇
カチ〳〵山・花咲爺	武者小路	一、三〇
テニスの手引		四〇

大阪屋號

謹告

從來の店舖は狹隘の爲め御得意樣各位に常に不行屆勝ちと相成居り候に付き今回
器械部を 長谷川町(朝鮮銀行前) 電話長一〇六番
通信販賣部 卸部を 元器械部跡(京城府廳横)電話三七二番に
移轉致し一層業務勉勵仕るべく候に付き何卒倍舊御引立の程御願ひ仕り候 草々百拜
京城本町一丁目 電話二〇一四 山岸天佑堂藥房

りん病ばい毒

▽にせドラッグあり御注意

近來東京某所世各地に於てドラッグなる名稱を用ひ賣出す者あり當ドラッグ以外にドラッグ商會と稱するものあるも全く無關係なり御注意を乞ふ
京城南大門外停車場通 本部 特約店 ドラッグ商會
京皮龍山等各地に當物有御注意

醫學の進步が完成せる 世界的流行の美顏藥

白色淨血劑 **ベーリン**

色白くなる實驗

赤い薔薇の花を硫酸ガスの中に入れて放置の經過を見ますと、眞白な花となる、これは硫黄が色素を漂白する作用があるからで、若し人體に斯樣な化學的實驗を應用することが出來たならば、色黑な醜くい人は全く無くなつて幸福な時代が來るであらう。この色白ならしむる研究は、昔から歐米では盛んであつたが、近頃は殊に盛んになり、遂に白色淨血劑を發明して、美容學上に一大革命を齎し、臨床上の如き効果を擧げて居る、元來白色淨血劑は、皮膚病研究者に依つて發見されたもので、從來は外部の刺戟から生ずると思はれてゐた、ニキビ、そばかす、色黑、赤鼻、多汗症、毛髮脫落等が體內消化機能の異常により發生することが分つたので、其の發表が醫學界の注意を喚起する爲め種々苦心の末、初めて創製され、實驗の結果美容學上にも皮膚病上にも多大の効力のあることが證明されたのである。

數萬人の保證

本劑化學的製劑 當所試驗部で醫學者多くの技師藥學者はこの白色淨血劑を日本人に適用すべく、多年國民の體質、食物、其の他氣候風土等を苦心研究してゐたが、遂に國民に適合する處方を得て理想的白色淨血劑ベーリンを創製し得たので、大正三年直に社會に試藥を提供し、爾來五年間廣く社會に實驗の結果其の効力實に絶大にして、ニキビ、そばかすを取り色を白くし血色を美しくし赤鼻、あぶら顏、毛髮脫落、常習便秘、くさ、しつ、吹出物等一切の皮膚病に卓效あるとを驗明せられ、各地大新聞、雜誌、專門美容術家等の讃辭は固より、直接患者よりの禮狀の多きに驚し遂に廣く世人に愛用せらるゝに至つた。

試藥特別大提供

本劑は上述の疾患に惱む人々の爲めに今回試藥の大提供を斷行して居る希望者は郵管、カリセ或は印紙切手等にて廿五錢だけ送附すれば直に「皮膚病新治療法」と云ふ書籍を郵代にて添へ送呈する。同病に惱める人々は直に申込んで此近代醫學の證明ある白色淨血劑により永久の美貌美身となり幸福を得られむ事を望む

急告!

近時本劑の効力絶大なるを奇貨し模造類似品續出すれども眞正の白色淨血劑は斷じてベーリン以外に有る筈なければ各地藥店にて御買求めの際は發賣元「博仁房」及び登錄商標名稱等に御注意被下度し

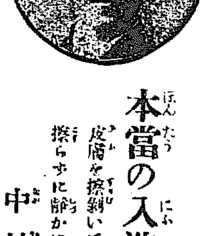
藥價 四十五錠入 六十錢 九十錠入 一圓 二百錠入 二圓 三百三十錠入 三圓 徳用 五圓

全國到る處の藥化粧品店にあり 若し品切の節は直接本舖へ御注文下されたし
發賣元 東京市上野櫻木町四十 博仁房 電話下谷二八八一番 振替東京二六九九〇番

本當の入浴法

皮膚を擦剝いて汚垢と誤解 擦らずに靜かに撫でること

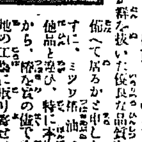
中村魁車談 (ミツワ文庫 七三)



湯上りの心持はまことに宜しいものでございますが、入浴は單に心持のよいばかりか美容法から申してもこれより大切なことはございません。しかし其方法が宜しくありませんと入浴の目的を完全に果すことが出來ませんのみか、肝腎の肌膚を荒して醜くするやうなことになりますから充分注意を拂ふことを忘れてはなりません。そこで私共が多年經驗上最も美容法に適つた理想の入浴法を御參考までにお話し申しませう。第一あまり熱い湯は身體に害になりますから、程よい溫度ツマリ入り加減の湯にしなければなりません。また中には何時までも湯に浸つて居る方がありますが初めには凡そ十分間ぐらゐ湯から出て再び入る時には五分間ぐらゐが最も適當とされてあります。それから肌膚の洗ひ方でございますが、素人の方の中には何でも磨きさへすれば、綺麗になるやうに御召しして、垢擦でゴシ〳〵擦つたり糠袋でひどく擦つたりして、よれて出ますのを汚垢と思召す方もおありのやうでございますが、これは大きな間違で、よれて出ますのは汚垢では無くて無理に皮膚の角質が剝ぎ取られるためでございます。そのやうな手荒なことをせずに、飽迄も衞生に適ひ、肌膚を美しく整へます入浴法といたしましては、先づ浴槽から上りましたならば湯に潤うて柔かに和げられました肌膚へ、肌膚の榮養を助け、機能を健かにしますミツワ石鹸を手拭で溶きまして、その泡立つた牛乳のやうな細かい泡沫を全身に塗りまして、手拭で無理に擦るやうなことをせずに只手で靜かに撫でますと、此石鹸特有の作用で汚垢はスツカリ泡沫に包まれてしまひますから、そこで手拭で抑へるやうにして餘分を拭ひ取つて置きますと、肌膚の組織は健かになり、榮養は豊かになつて肌膚は眞底から整へられて玉のやうに美しくなり、白粉ののびも自由になりますから、水際立つた立派なお化粧が出來上ります。

それをお湯で洗ひ流しますと生々とした滑らかな肌膚が生れます。ミツワ石鹸は何故其樣に特別に優良な品質を備へて居るかと申しますに、此石鹸は舶來品や舶來品を模做したものと違つて日本人の肌膚の生理狀態を學理上から研究して之れに遺憾無く適するやうに精製されてあるからでございます。それ故として湯上りののんびりした肌膚へ

▲中村雀右衛門曰く



化粧用の油の王さも申すべきは、ミツワ椿油でございます。なぜミツワ椿油が群を拔いた優良な品質を備へて居るかと申しますに、ミツワ椿油は他品と違ひ、特に本場の伊豆大島から、極上等の種を選び、最新式の工場に取り寄せ、皮脂まで除りまして純粹の品だからでございます。色に赤味も無ければ、香に苦もなく、惡臭も無く、毛髮を尙々ご艶かにし、色澤を黑く美しくする此上もない髮油でございます。

家庭治療法

醫學士 小山田 著

本書は日常の衞生法を示し、罹り易き疾病の原因症狀等を平易に說き、家庭に於て施し得る治療法を丁寧に、醫師にかゝるまでの親切な相談相手となるものである 定價金五拾錢。但其半額を添へ御申込あれば一冊送呈す。東京日本橋區橘町丸見屋商店(振替東京七一〇番)

綿絲依然強調

利四十圓方の昂進を告げたるが爾後も步調を以て上進し遂に二十日杉之益引値三百九十九圓十錢三品引値するに左の如し

より六十三圓八十五錢高く市價に於ては却て七十四圓方低し狂熱時代を呈せしは全く原棉に逆行したる現象せらるゝを免れざれども矢張り根本に於ては需給關係に因ると云ふ思惑心を助長せしめたるに搗て加へて銀塊の騰貴英國の東洋航路の廢止或は印度政策の發行制限等

▲輸出難に陷り 爾來漸次在荷停滯して一時の恐慌を惹起し

在荷を今日とを比較するに如左

	大正六年七月上旬	大正七年三月上旬	比較
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

なる數の上より見れば此在荷の消化せざる間は需給の調節を得ざる譯なるが事實は內外市場を通じて